

XXI. カードを利用した演習①



A. 目的

1. カードに慣れ親しむ
2. カードの便利さを実感する（自分が便利のように情報を整理することができる）
3. 身の周りの事象を文字情報にする

B. 演習

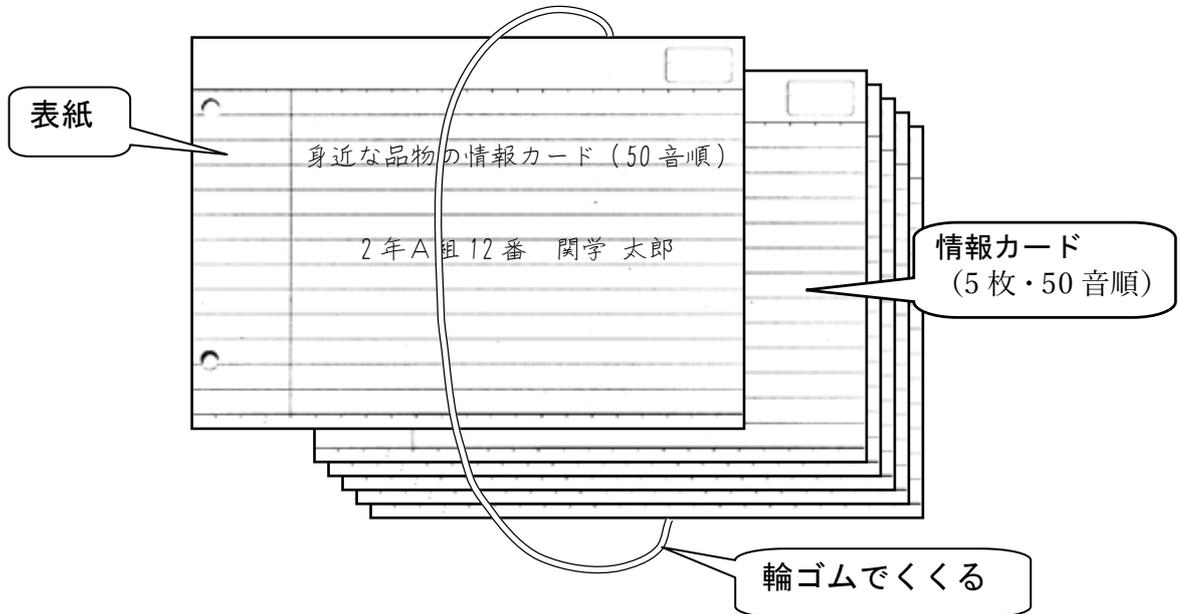
ハイマジッキー		<input type="text"/>
●	種 別：文房具（ペン）	
	価 格：100円	
	用 途：いろいろな物に文字を書く	
	製 造 元：しまうま株式会社	
	使用年数：6ヶ月程度	
	大 き さ：長さ15cm、直径2cm	
	重 さ：不明（軽い）	
	色 ：黒	
	材 質：プラスチック	
	特 徴：油性、2種類のペン先（太・細）、ガラスや金属にも	
●	書ける	
	2020/4/11	

関西学院中学部

1. 自分の身の周りにある品物を調査し、情報カードを **5枚以上**作成する
2. 情報カードの最上段には、品名を大きく記入する
3. 情報カードに記入する項目は次の **10項目**
 - ・種別 ・価格 ・用途 ・製造元 ・使用年数
 - ・大きさ ・重さ ・色 ・材質 ・特徴

※わからない項目は「不明」でかまわないが、できる限り調べて書く
 ※価格は定価・売価・税込・税抜は問わない
4. 情報カードの左下隅に必ずカードを**作成した年月日**を記入する
5. すべての情報カードについて、**形式（フォーマット）**をそろえること
6. 言うまでもないが、必ず自分でカードを作成すること（他人のカードを写さない）

7. 情報カードを作成し終わったら、すべての情報カードを上から**50音順（アルファベットの品名のもはカナ読みにして）**に並べ替える
8. 最後に、「身近な品物の情報カード（50音順）」、学年、クラス、番号、名前を書いた表紙を一番上におき、すべてのカード（計6枚）を**輪ゴムでくくる**



C. 注意

1. すべてペンで記入（黒または青）すること（以後ペン書きが原則）
2. 輪ゴムは各自で用意すること（事務室や図書館でもらうことはできない）
3. 梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書、1969）P.1～P.64 を読むと、この演習の意味がより理解できる

XXII. マインドマップ① 発想をまとめる

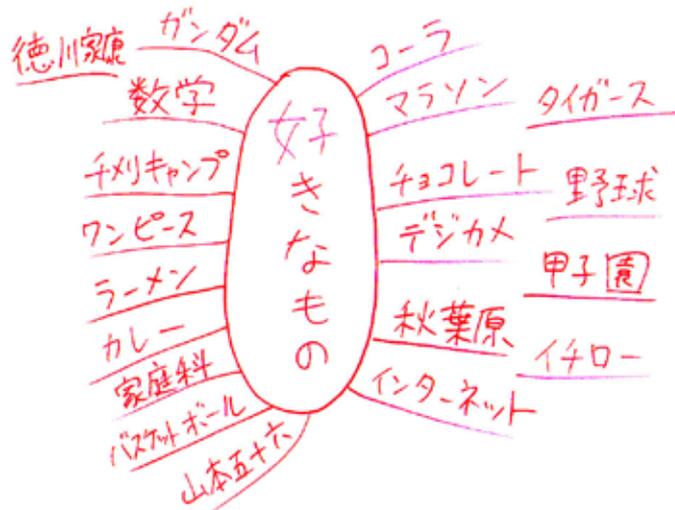


A. 目的

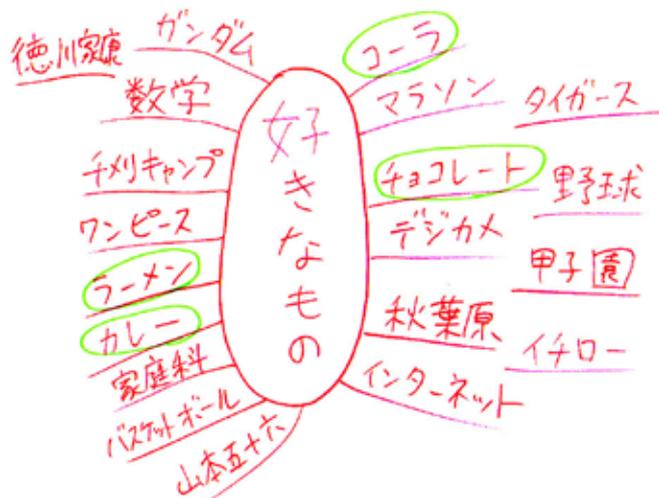
1. 近年、発想力や記憶力を高める思考ツールとして注目されている「マインドマップ」をかく
2. 脳の中にある多くの発想やひらめきを「見える」形にする
3. 雑多な情報を体系化し、まとめる

B. 演習

1. 自分の「好きなもの」をテーマにした「ミニマップ」を作成する
 - a. 紙の中心に「好きなもの」と縦書きし、線で囲う
 - b. 中心から用紙の外側に向かって放射状に線を引き、その上に自分が好きなものを**単語**の形でかいていく（文章はダメ）
 - c. 中心から線が引けなくなったら、中心とつながっていなくても良いので、用紙の空いている場所に線と単語をどんどんかいていく
 - d. **30 個以上**の単語をかくこと

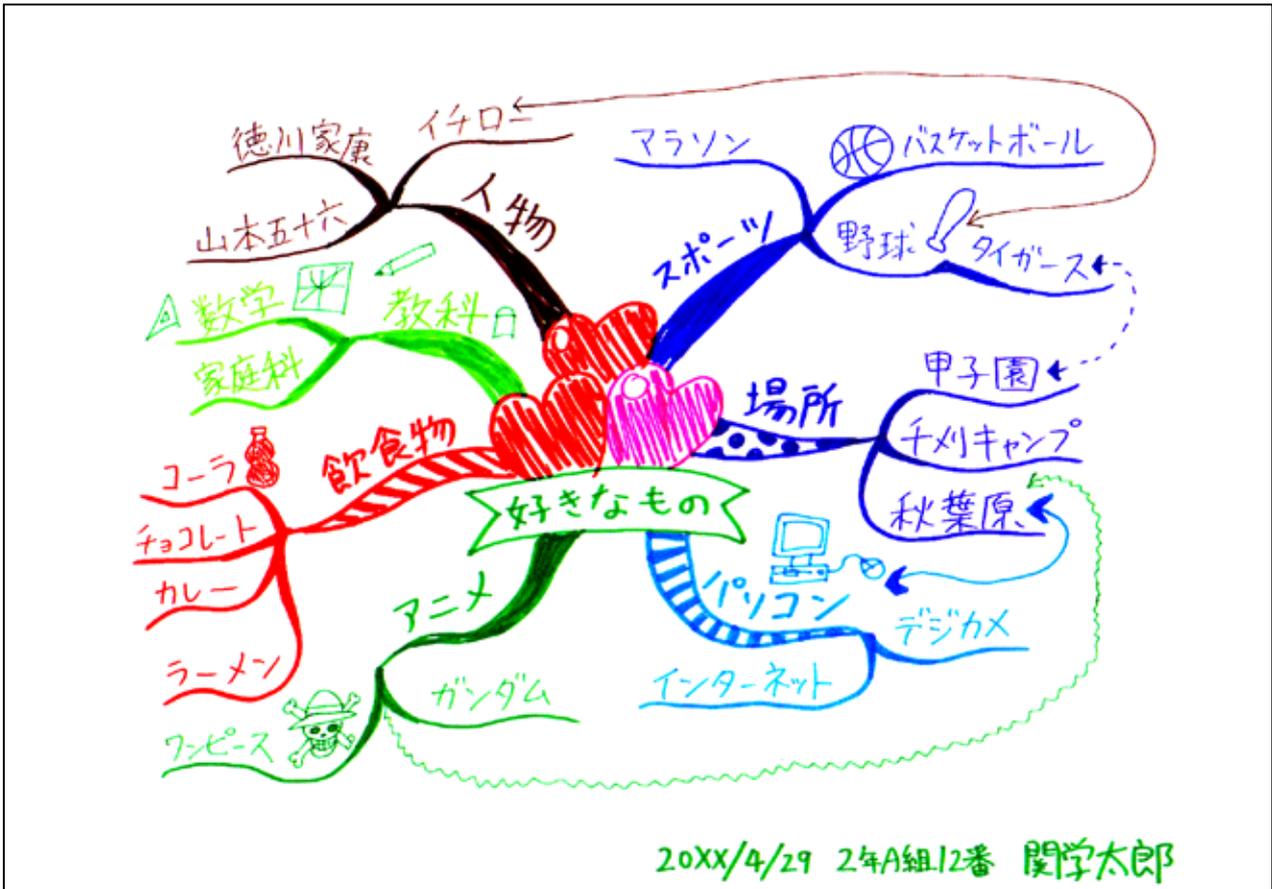


- e. 同じ種類の単語を同じ色で囲っていき、**7 種類前後**に分類する（本、食べ物、人物など）



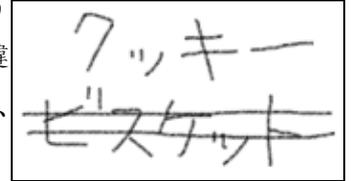
2. ミニマップを元に「マインドマップ」を作成する

- a. セントラルイメージ (中心の絵) : A4 用紙の中心に、好きなものの中から代表的な単語を選び、そこから発想した絵をかく どうしても発想できない場合はハートマーク等でも良い 色を3色以上使ってかくこと
- b. メインブランチ : セントラルイメージに直接つなげてかく、太い枝
 - (1) メインブランチの上側にはBOI (Basic Ordered Idea : 基本アイデア) を横書きでかく
今回は本、食べ物、人物といった分類がこれにあたる
 - (2) 中心に近いほど太く、外側ほど細くなるように、有機的な曲線をかく
 - (3) メインブランチは全部で7本前後になるようにし、それぞれ違う色でかく
 - (4) メインブランチは同じ色で塗りつぶすか、模様で埋めること
- c. サブブランチ : メインブランチにつなげてかく、細い枝
 - (1) 基本的なかき方はメインブランチと同じ メインブランチと同じ色でかく
 - (2) サブブランチの上には、ミニマップで発想した単語やイラストをかいていく
 - (3) 中心から離れるほど小さな文字でかくが、特に強調したい単語は強調してもよい
 - (4) サブブランチからさらにサブブランチを伸ばしたり、ミニマップにはない単語を増やしたりして、発想を広げていく
 - (5) 関連のある単語どうしは矢印等で結び、関係が分かるようにする
- d. 用紙の右下隅に、作成した年月日と学年、クラス、番号、名前を記入する



C. 注意

1. 単語は必ずブランチの上に、横書きでかくこと 先にブランチをかき、後で単語をかいた方が発想が湧きやすい
2. ブランチは何本に分けてもよいし、何段階に分けてもよい ただし、全てのブランチがセントラルイメージからつながっていること 途中で途切れてはならない
3. すべてペンまたは色鉛筆でかき、カラフルに仕上げる
4. ブランチや単語は薄い色（黄色や水色）でかかないこと
5. 隣どうしのブランチが似た色（赤とオレンジなど）にならないよう、配色を工夫すること
6. 文字をかき間違えた場合は修正液や消しゴムを使わず、右図のように線で消して訂正すること（マインドマップにおいては、かき間違えたことも記憶や発想の手助けになると考えられているため また、マインドマップは本来は人に見せるためのものではないため）
7. 最低限のルールを守った上で、自由に楽しんでかくように心がける



XXIII. マインドマップ② 記憶をまとめる

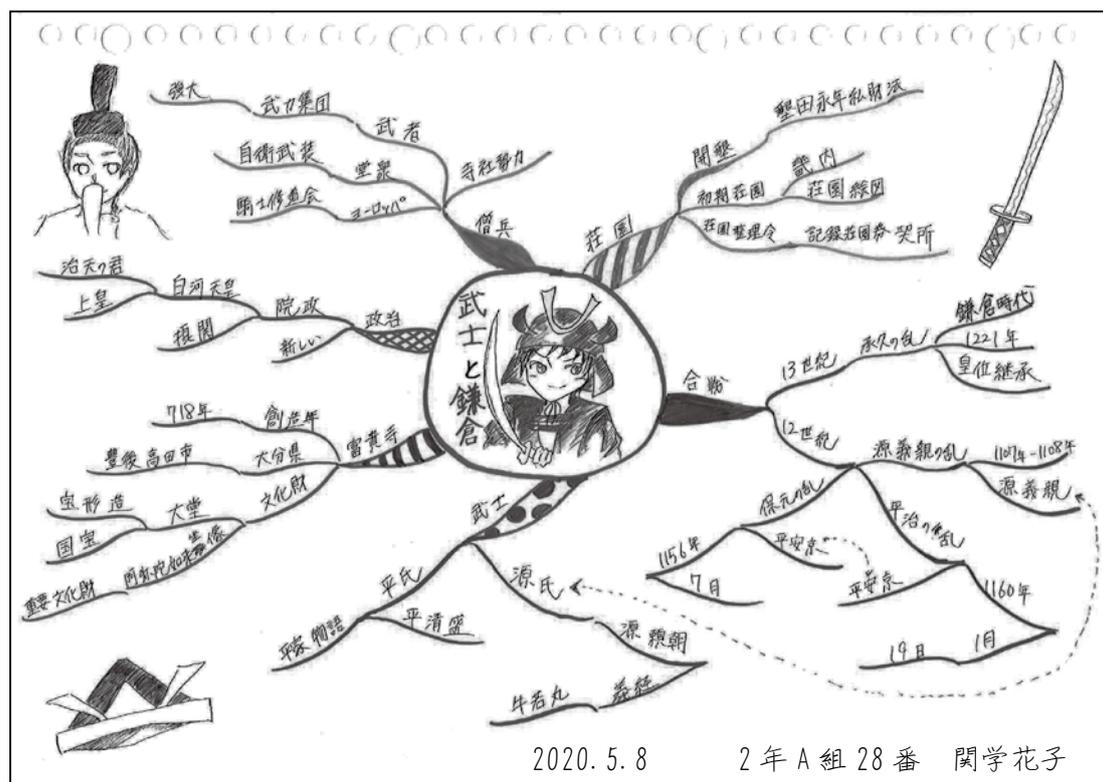


A. 目的

1. 記憶をまとめるツールとして、マインドマップを活用する
2. 前回の反省を活かして、より見やすいマインドマップを作成する
3. マインドマップの基本的なかき方を身につける

B. 演習

1. 別途指定された文章を読み、その内容を 1 枚のマインドマップにまとめる
2. 文章中からキーワードになる**単語を 30 個以上**見つけ出し、印（アンダーライン、マーカー等）をつける キーワードは必ず単語の形にする
3. キーワードは多すぎてもまとまりがなくなる 重要なものだけを取捨選択し、文章全体の 10% を超えない程度にする（元の文章が短い場合はこの限りではない）
4. キーワードを見渡して分類し、7 個前後の BOI（基本アイデア）にまとめる
5. 文章の内容から想像を働かせ、セントラルイメージをかく
6. 前回同様の手順でマインドマップを作成し、一目で文章の内容が把握できるようにする
7. 完成後、用紙の右下に作成した年月日と学年、クラス、番号、名前を記入する



先輩の作例

XXIV. ブレインストーミング



A. 目的

1. 集団で多くのアイデアを生み出す手法を体得する
2. 出されたアイデアを体系的にまとめる手法を体得する



B. ブレインストーミング

1. ブレインストーミングとは、集団でアイデアを出し合うことで参加者が互いに刺激を与え、より多くのアイデアを発想するための手法である。どんなにつまらないアイデアでも、他の参加者がそれを参考に新しいアイデアをひらめく可能性があるため、とにかく多くのアイデアを出すことが重要である
2. ブレインストーミングの4原則
 - a. 「批判をしない」 他人の意見を批判してはいけない。批判があると良いアイデアが出にくくなる。勝手に結論を決めるようなことも言ってはいけない
 - b. 「自由奔放」 ユニークで斬新で笑われそうなアイデアでも、思いついた考えをどんどん言う
 - c. 「質より量」 つまらなくても良いので、できるだけ多くのアイデアを出す
 - d. 「結合と発展」 他人のアイデアから連想したり、別々のアイデアをまとめたりすることで、新しいアイデアを生み出しても良い

C. KJ法、こざね法

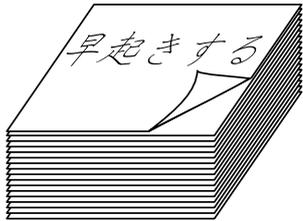
1. ブレインストーミングなどで集まった大量のデータ（事実、意見、アイデア）をカードやふせん紙に書き出し、似ているものやつながりのあるものをグループ分けしていくことで考えをまとめる手法をKJ法（川喜田二郎『発想法 創造性開発のために』）またはこざね法（梅棹忠夫『知的生産の技術』）という
2. グループ分けしたデータは、それぞれに見出しを付けて関係性を図解化したり、文章化したりしてまとめる

D. 演習

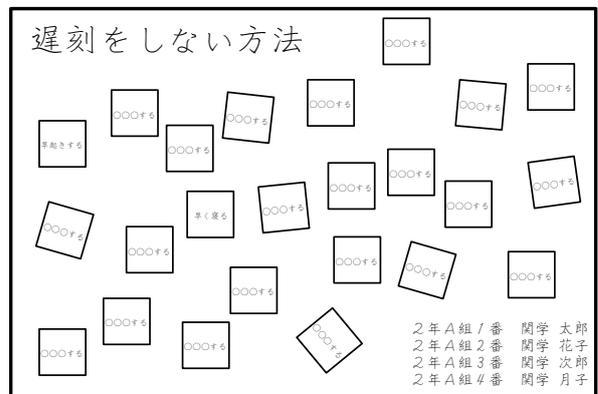
1. 模造紙の左上に班ごとに与えられたテーマ、右下に全員の学年、クラス、番号、名前を記入する
2. テーマに従って、ふせん紙にアイデアを書いていく。アイデアは単語でも文章でも良いが、簡潔で具体的に大きな文字で書くこと。1人につき10枚以上！
3. 模造紙の上に班員全員のふせん紙をカルタのように広げて、書かれている内容を1枚1枚確認していく
4. 内容が近いものどうしをグループにして、模造紙の上に配置していく。どのグループにも入

れられないものは、そのまま残しておいてよい

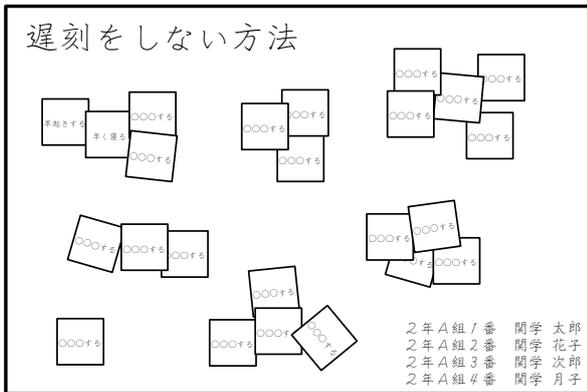
5. 各グループを線で囲い、見出しをつける
6. 関連があるグループどうしは矢印で結ぶ
7. 班員各自が各グループに得点を付ける 重要と思うグループを5つ選び、最も重要なものから順に5点、4点……1点とする
8. 全員の得点を合計し、合計点が高いものから順に班の意見として発表する
 - (1) 発表時間は1班につき2分～2分30秒
 - (2) 班員全員が話すこと（1人1項目）
 - (3) 全ての項目を話さなくてもよい
 - (4) 聴衆はワークシートを記入する



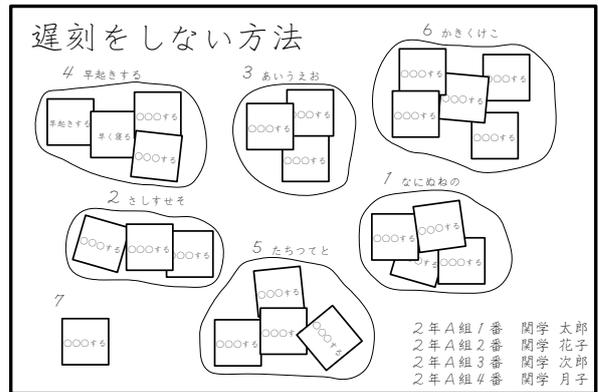
①ふせん紙にアイデアを書いていく



②模造紙の上に全員のふせん紙を広げ、1枚1枚の内容を確認する
模造紙の左上に班ごとに与えられたテーマ、右下に全員の学年、クラス、番号、名前を記入する



③内容が近いものどうしを集めてグループにする
どのグループにも入らないものは1枚だけで残してもよい



④各グループを線で囲い、見出しをつけ、重要な順に番号をつける

XXV. カードを利用した演習②



A. 目的

1. 本、とくに参考図書（レファレンス・ブック）というメディア（媒体）の特性を理解する



2. オンラインデータベース、Web サイトの特性を理解する
3. 知識や情報を検索する方法と過程、すなわち知の構造を理解する
4. 必要な情報をカードに書き出し、整理・活用する技術を体得する

B. 百科事典、参考図書による演習

1. 設問カードにある 12 個の設問のうち 2 つ以上について、百科事典または参考図書により調べる それぞれの設問には相当する分野が記されているので参照すること

設問 2年組番氏名: <input type="text"/>	
●	以下の言葉について説明しなさい
	①鳥インフルエンザ [医療]
	②使徒 [聖書]
	③ジャコビニ流星群 [天文学]
	④ティラノサウルス [恐竜]
	⑤読書科 [関西学院]
	⑥三枝成章 [作曲家]
	⑦ディオニュソス [ギリシャ・ローマ神話]
	⑧クリミア戦争 [歴史]
	⑨トリノフンダマシ [クモ]
●	⑩谷崎潤一郎 [日本文学]
	⑪大学入試センター試験 [教育]
	⑫フィルタリングソフト [情報技術]

設問カードの例

2. 百科事典 (encyclopedia エンサイクロペディア) とは、幅広い分野について項目ごとに簡潔に説明している図書のことである

- **索引** (さくいん) 参照したい項目が掲載されている巻・ページ数や、関連する項目をまとめたもの
- 項目が 50 音別に載っているものと、分野別に載っているものがある



『日本大百科全書』の索引

水耕法	①75
『水耕法』	①758 A
出陣証文	→徳川時代①325 C
推古朝	→飛鳥時代①314 A
『水遣伝』	①758 A ①758 B
295 D	→四大奇書①825 C
江①39 A	→羅貫中①700 C
推古天皇 [11]	第33代天皇 ①759 A
→飛鳥時代①314 A	→小墾田宮
①②③316 C	→聖徳太子①61 B
→女帝①305 D	→法隆寺①408 D
→大和国①268 D	
スイコパネガ	[童小娘] ①759 A
水彩絵の具	→絵の具①602 ①603
水彩画①759 C	
水彩画くわ	→カラー・アクアレー

3. 参考図書 (reference book レファレンス・ブック) とは、特定分野について項目ごとにおおまかに説明している図書のことである

- 事典 ことがらに関する解説
- 辞典 語句の意味や成り立ちを解説
- 図鑑 ことがらやものについて、構造やかたちなどを写真や絵や解説で示す
- 年鑑、白書 定期的に刊行される、年間の動向、統計、概説
- 便覧 ことがらやものについて、写真、図、統計などを用いて実務的に解説
- 書誌 資料の書誌情報 (出版社、出版年など) のリスト

4. 中学部図書館で該当する参考図書を探し出す方法

- a. 中学部図書館では、参考図書を集め、NDC 順に並べ、館内のみの閲覧としている
- b. その分野に相当する分類番号 (NDC)などを参考にして直接探す

例：分野が法律→NDC320のところを探す

- c. その分野名と参考図書の書名の一部 (「事典」「辞典」「図鑑」など) を組み合わせて、OPAC で検索する

例：分野が自動車→OPACの書名で「自動車」と「事典」を and 検索

→『自動車大事典』などがHitするので、その請求記号から探す

5. 該当の参考図書によって調べ得た結果を「図書の情報カード」1枚に要約する 要約は、自分の興味関心でまとめてよい 原則としてエッセイの書き方に準じること

- ただしカードの半分以上 (全てのカードを平均したら 200 字程度になるように) は書くこと
- 改行はしない
- 「主題」の部分には、調べた項目 (設問で指定された単語) を書く
- カードの下の部分には、参考図書の『書名』巻数、ページ数、著者名にはその項目の執筆著者名 (ない場合は「不明」と記入)、出版者 (出版社)、出版年を書く
- 作成年月日も忘れずに書く

要約カードの例
(これで271文字)

図書 book		関西学院中学部 情報カード 	
主題 読書科			
関西学院高中一貫教育の重要な柱の一つで、その核となる必修教科として「読書科」が設けられている。そのねらいは読書生活の形成と深化、自主的自立的学習の体得の2点である。中学部においては、1年生は中学部図書館の利用、「読書ノート」の作成、大学図書館・公共図書館の利用、説明、論述のエッセイを読んで、書いて、考えるなどのカリキュラム、2年生は情報カードの利用、百科事典による探究演習、新聞からの情報収集・整理、読書カード・文献カードの作成、3年生では「卒業レポート」作成、本作り、読書・現代詩の朗読などとなっている。演習作業はすべて図書館で行われる。			
2020年 5月 30日作成			
書名	関西学院事典	7巻	ページ 232
著者名	三日月太郎、関学次郎ほか(編)	出版者名	KG書店
		出版年	1999

C. オンラインデータベースによる演習

1. 設問カードにある12個の設問のうち2つ以上について、オンラインデータベースにより調べ、情報カードに要約する
2. オンラインデータベースとは、書籍と同様に信頼性のある有用な情報をインターネット経由で検索・閲覧できるサービスである。利用には利用契約やユーザーID、パスワードが必要であり、一般家庭からは利用できない。関西学院中学部図書館では、以下のオンラインデータベースが利用可能である
 - a. **ジャパンナレッジ**（辞書・事典の検索）

『日本大百科全書』、『現代用語の基礎知識』、『大辞泉』、『国史大辞典』、『日本人名大辞典』や各種言語の辞典、映像資料などさまざまな参考資料を一括検索できるサービス
 - b. **ブリタニカ・オンライン・ジャパン**（百科事典・年鑑の検索）

『ブリタニカ国際大百科事典』、『ブリタニカ国際年鑑』（その年の出来事や統計情報、既存の項目に追加する内容をまとめたもの）を検索できるサービス
 - c. **朝日けんさくくん**（朝日新聞社 1985年以降の新聞記事の検索）
 - d. **スクールヨミダス**（読売新聞社 新聞記事の検索）



関西学院中学部図書館のWebサイト



ジャパンナレッジのWebサイト

3. 「**図書の情報カード**」「**新聞の情報カード**」を使い、以下の記入例を参考にまとめること

図書 book		関西学院中学部 情報カード	
主題 カブトムシ			
昆虫綱甲虫目コガネムシ科カブトムシ亜科に属する昆虫。日本産の代表的な甲虫の一つである。本州、四国、九州のほか、台湾、朝鮮半島、中国、インドシナに分布している。7、8月ごろクヌギ、サイカチなどの樹液に集まるので、サイカチムシともよばれる。体長38～53ミリメートル、幅19～27ミリメートル。雄は頭に前上方に伸びる長い角(つの)がある。この角は先が二またになり、その先も二またになる。前胸にも中央前から前向きに二またの角がある。角の発達は体の大きさに違い、大きい雄ほどりっばである。雌は角がなく、背面の光沢が鈍く、ボウズ(坊主)などともよばれ、色も黒っぽい。			
2020年 5月 30日 作成			
書名	日本大百科全書(ジャパンナレッジ)	巻	ページ
著者名	中根猛彦	出版者名	小学館
		出版年	不明

新聞 newspaper		関西学院中学部 情報カード	
主題 天安門事件			
中学部で学ぶのは、自分で課題を見つけ、自分で考え、自分で調べ、研究する姿勢である。自学自習の精神と、自主独立の心を養う。受験勉強にははられず、のびのびと自分自身の才能を伸ばすことができる。三日月の校章には、いまは不完全な私たちであっても、新月がやがて満月となっていくように、絶えず向上していきたいという願いが込められている。また、月は自ら光を放つのではなく、太陽の光を受けて暗い夜を照らしている。私たちが神の恵みを受けて、世の中を明るく照らしていきたい。そんな願いも込められている。			
2020年 5月 26日 作成			
記事名	中国「内政干渉」天安門事件巡り反論	新聞名	読売新聞(スクールヨミダス)
発行日	2020年 6月 4日	発行所	東京
		不明	版 30面

D. Web サイトによる演習

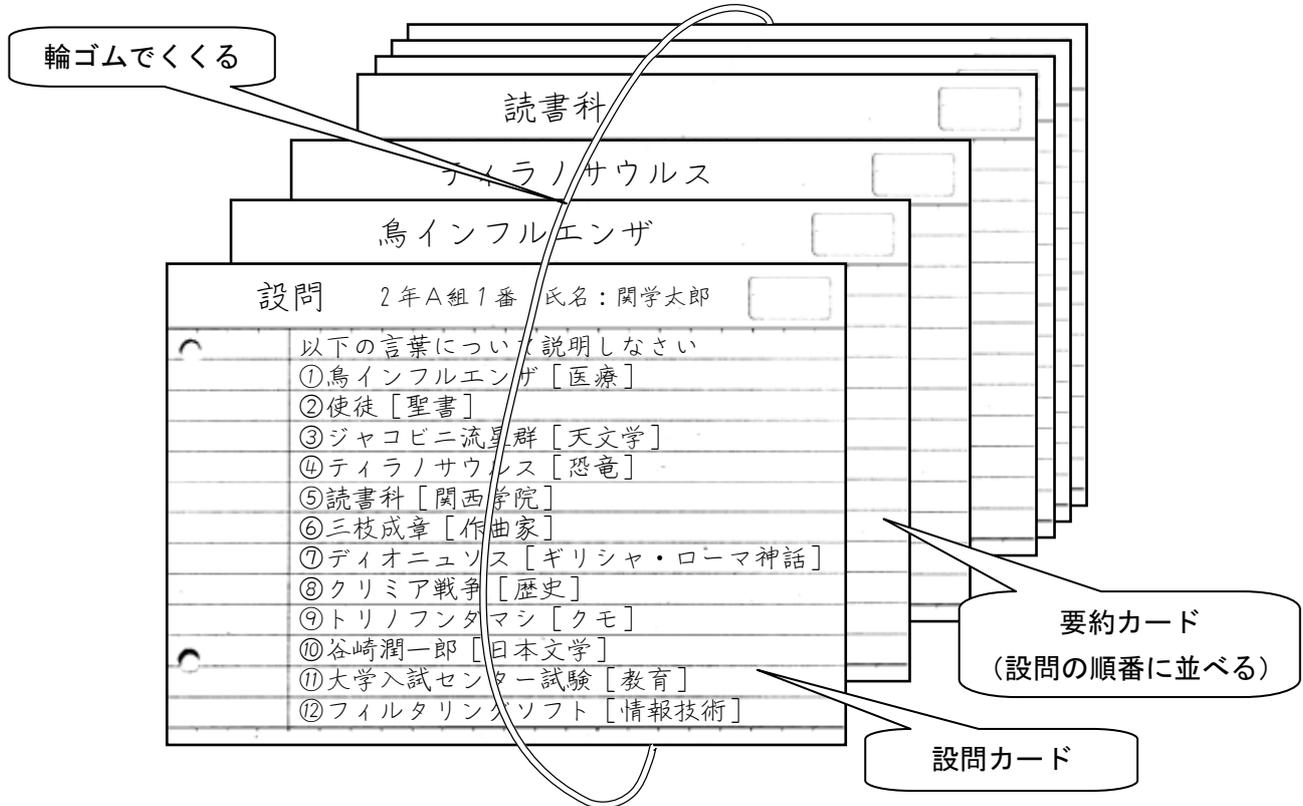
1. 設問カードにある 12 個の設問のうち 2 つ以上について、一般の Web サイト（オンラインデータベース以外 コトバンクや Yahoo! 百科事典のような無料のオンラインデータベースも不可）の情報をを用いて調べ、情報カードに要約する
2. Google (<http://www.google.co.jp>) や Yahoo! JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp>) などの検索エンジンを用いてキーワード検索し、検索結果の中から信頼できる情報を採し、引用する
 - a. 信頼できる Web サイト
 - (1) 作成者や責任の所在が明確なもの
例：奈良市「奈良市公式サイト」(<http://www.city.nara.lg.jp/>)
 - (2) 書籍と同等の内容が掲載されているもの
例：総務省「情報通信白書」(<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>)
 - (3) 信頼できるドメインのもの
go.jp（政府機関）lg.jp（地方公共団体）ac.jp（大学などの教育機関）ed.jp（小学校・中学校・高校など 18 歳未満対象の教育機関）などは運営主体が明確であり、信頼できるものが多い
 - (4) 複数の信頼できる Web サイトを見比べて、内容に違いがないもの
 - (5) 著名人や会社・団体について調べる場合、調べる対象自身の公式ページ
 - b. 信頼できない Web サイト
 - (1) 検索エンジンの「検索結果ページ」
検索エンジンは機械的に情報を収集しているだけである 検索結果のリンク先を閲覧し、内容を吟味しなければ信頼できる情報かどうか判別できない
 - (2) 不特定多数のユーザーがページを編集する形式のもの
例：ウィキペディア、はてなキーワード、ニコニコ大百科、ピクシブ百科事典、Wiki による「まとめサイト」など
 - (3) 責任者が不明確で、内容の真偽が確認できないもの
例：2ちゃんねる等の掲示板、一般個人のブログ、Twitter など
3. 「ウェブの情報カード」を使い、以下の記入例を参考にまとめること（Web サイトの情報は変更・削除されることがあるため、確認日を明記する必要がある）



ウェブ Web		関西学院中学部 情報カード	
主題 宝塚歌劇団			
関西学院の三日月の校章には、いまは不完全な私たちがあっても、新月がやがて満月となっていくように、絶えず向上していきたいという願いが込められている。また、月は自ら光を放つのではなく、太陽の光を受けて暗い夜を照らしている。私たちが神の恵みを受けて、世の中を明るく照らしていきたい。そんな願いも込められている。宝塚歌劇団には「月組」という組があるが、関西学院の校章とは何の関係もない。			
2020 年 5 月 23 日 作成			
サイト名	宝塚歌劇オフィシャルウェブサイト	サイト作成者名	宝塚歌劇団
URL	http://kageki.hankyu.co.jp/history.html	確認日	2020 年 5 月 20 日

E. 提出

1. 作成した6～12枚の要約カードを**設問の順番**に並び替える
2. 設問カード、要約カードの順に重ね、輪ゴムでくくる
3. 設問カードにクラス、番号、氏名を記入すること



F. 注意

1. すべてペンで記入すること
2. 輪ゴムは各自で用意すること (事務室や図書館でもらうことはできない)
3. 参考図書は、今回の演習のようにその図書の一部しか利用しないが、多くの人が利用するものである。よって、基本的には特約図書 (みんなが使うので借りることができない図書) である。必要な部分だけをコピーしたり、利用したらすぐ元の場所に戻したりして、他の人の迷惑とならないようにする
4. オンラインデータベースは、中学部図書館内のパソコンでのみ利用可能 (自宅のパソコンからは利用できない)

XXVI. 探究演習

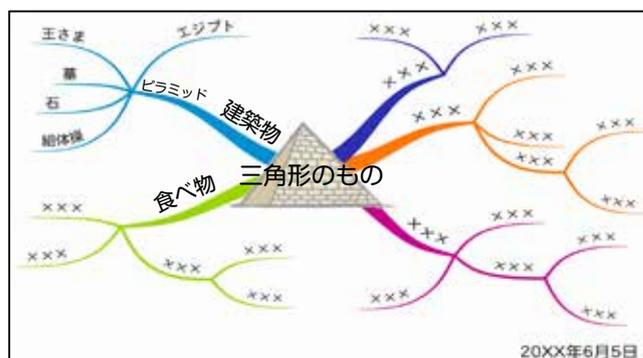
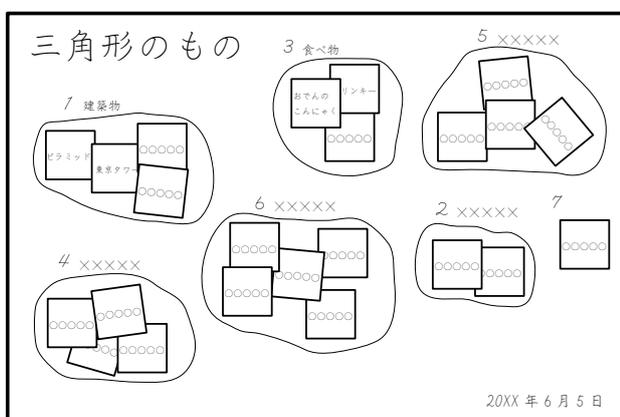


A. 目的

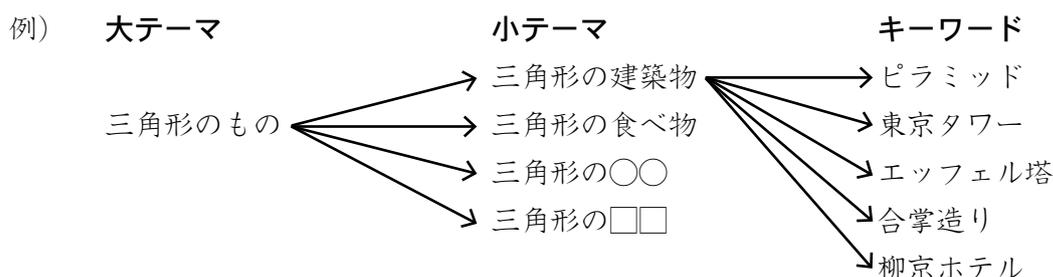
1. これまでの演習で体得した技術を総合的に活用し、グループでの知的生産を実践する
2. 知識や情報を検索する方法と過程、すなわち知の構造を理解する
3. 自分の問いを明らかにし、その答えを発見するという過程を体得する
4. 必要な情報をカードに書き出し、整理・活用する技術を体得する

B. 演習

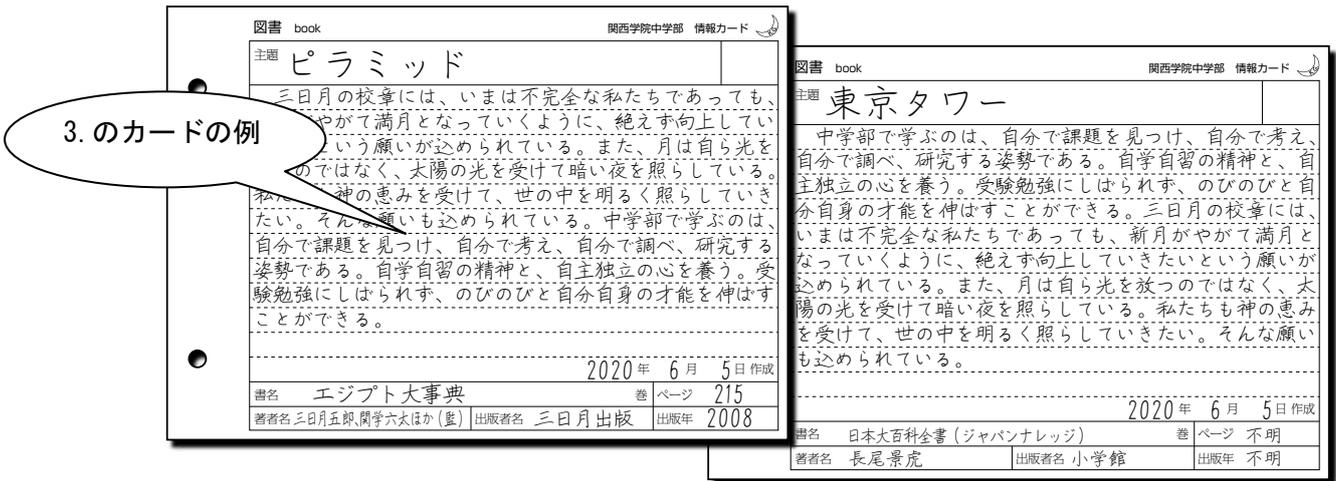
1. 班に与えられた大テーマから発想するものについてブレインストーミングやマインドマップを使って、4つの小テーマにまとめる（まとまりが5つ以上になった場合は順位づけを行い、上位4つを小テーマとして採用する）



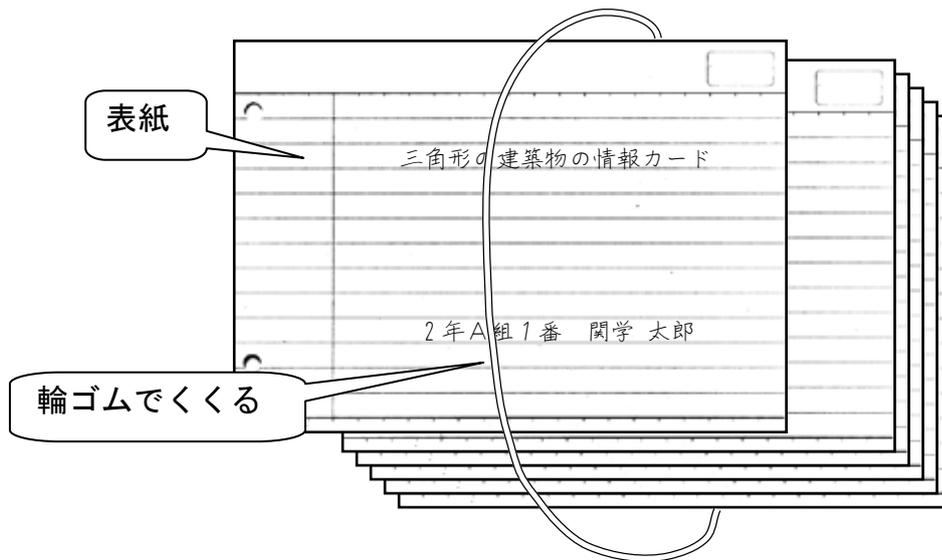
2. 各班員が小テーマを1つずつ担当し、そこから連想するキーワードを5つ以上列挙する



3. キーワードの中から5つ以上を選び 選んだキーワードについて参考図書、オンラインデータベース、Web サイトを活用して調べて要約し、情報カードを作成する
 - a. 要約した内容がカードの半分以上（200文字程度）になるようにすること
 - b. 参考図書、オンラインデータベース、Web サイトがそれぞれ1回ずつは使われているようにすること
 - c. 前回の課題と同様に「図書の情報カード」「ウェブの情報カード」「新聞の情報カード」に情報をまとめる



- d. 最後に、「(大テーマ) の (小テーマ) の情報カード」、学年、クラス、番号、名前を書いた表紙を一番上におき、全ての情報カードを輪ゴムでくくる
 →カードは 50 音順に並べること



C. 注意

1. すべてペンで記入すること
2. 輪ゴムは各自で用意すること (提出直前に事務室や図書館でもらったりしない)

XXVII. 新聞記事の資料化とその活用



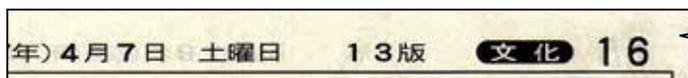
A. 目的

1. 有用なメディアの一つである新聞の特性を理解する
2. 雑多な情報の中から必要な情報を選別し、資料化（規格化）することを会得する
3. 事実を基にして、自分の意見を主張することを訓練する
4. 必要な情報のみをカードに書き出し、整理・活用する技術を体得する

B. 演習

1. 新聞記事の資料化

- a. 「戦争と平和」というテーマに基づいて、**新聞記事を3つ以上**探す
 - (1) 広島原爆投下の日（8月6日）、長崎原爆投下の日（8月9日）、終戦記念日（8月15日）前後は、新聞で特集を組んでいることが多い
 - (2) **コピーは禁止** 家庭で新聞をとっていない場合は、(1)の日に購入するなどして入手すること
 - (3) **長崎の原爆に関する新聞記事を最低1つ**は探す 必ず修学旅行では長崎を訪れる
 - (4) 事実だけでなく、記者（新聞社）の意見が入っている記事が望ましい（総合面・社会面に多い）
- b. 探し出した新聞記事を切り抜き、「新聞の情報カード」に丁寧に貼り付ける
- c. 「新聞の情報カード」の中央の部分に新聞記事を貼り付け、その新聞記事の主題（タイトル）、通し番号、記事名、新聞名、カードの作成年月日などを記入する
 - (1) 発行所は1面で確認して記入する（「発行所：□□□」、「□□□発行」などの記述を探す）
ただし、地方版の場合は地方名を記入する
 - (2) 版は各面の上部で確認して記入する（面ごとに版が違っている場合がある） 版が不明の場合は「版不明」と記入する
 - (3) 同じ新聞でも発行所・版によって内容が違う場合がある なお、新聞の縮刷版など記録として残るのは東京最終版である



□□新聞大阪本社発行の13版の場合
→□□新聞（大阪13版）朝刊、16面



□□新聞阪神地方版、版が不明の場合
→□□新聞（阪神版不明）朝刊、24面

- d. 貼り付けた新聞記事がカードからはみ出す場合は、カードにおさまるように丁寧に折りたたむ

新聞 newspaper		関西学院中学部 情報カード	
主題	パソコンで語り継ぐ戦争体験	3	通し番号
2020年 8月 31日 作成			
記事名	パソコンで語り継ぐ戦争体験	新聞名	読売新聞
発行日	2020年 8月 13日	発行所	大阪
		13 版	30 面

2. 新聞資料の活用 (要約と意見)

- a. 1. で作成した新聞資料を活用し、それぞれの**新聞記事の要約 (サマリー)**のカード、その新聞記事に関する**自分の意見**のカードを作成する
- b. 要約は「新聞の情報カード」、意見は「自分の意見の情報カード」をそれぞれ用いる。右上の部分に1. と対応する通し番号を記入し、以下の記入例に従って必要事項を全て記入する (発行所や版が不明の場合は、空白のままにせず「不明」と書くこと)

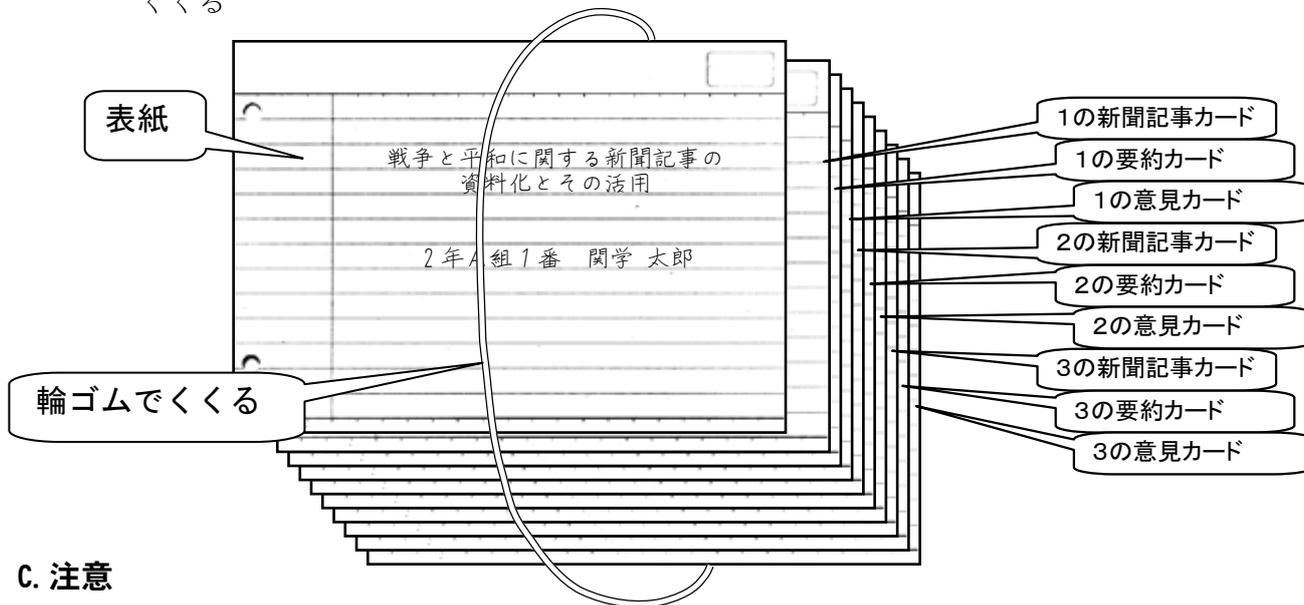
新聞 newspaper		関西学院中学部 情報カード	
主題	パソコンで語り継ぐ戦争体験	3	通し番号
<p>パソコンが高齢世代にも普及し、戦争体験をインターネット上で語り継ぐ活動が年々盛んになってきている。個人の体験を発表するだけでなく、電子メールで情報や感想を交換したり、体験談を資料として蓄積したりと、若い世代も巻き込んで、インターネットならではの双方向の交流が生まれてきた。兵庫県西宮市のK.Nさん(68)は戦争体験を掲載したホームページを紹介する「戦争を語り継ごうーリンク集」を作っているが、今年5月から、同じメールを全員に配信して情報を共有するメーリングリストの活動を始めた。高校生から89歳まで約150人が参加している。</p>			
2020年 8月 31日 作成			
記事名	パソコンで語り継ぐ戦争体験	新聞名	読売新聞
発行日	2020年 8月 13日	発行所	大阪
		13 版	30 面

自分の意見 my opinion		関西学院中学部 情報カード	
主題	パソコンで語り継ぐ戦争体験	3	トピックセンテンス
<p>この取り組みには賛成である。その理由は2つある。1つ目はメディアのことである。インターネットであることから双方向のやりとりが可能となり、議論が深まる。また、このような話題を敬遠しがちな若者がコンタクトしやすい。デジタル化されるため、後世へ伝えることも容易である。2つ目は、戦争体験者が若い世代の文化に触れたことである。何かを伝えるためには、相手の気持ちを知ることが大切である。この取り組みはその一助となる文化接触ではないかと考える。</p>			
2020年 8月 31日 作成			

- c. 要約および意見はそれぞれ 200 字程度記入する 改行しない カード1枚におさめる

3. まとめ

- a. 1.と2.で作成したカードを下記の順番にならべ、「戦争と平和に関する新聞記事の資料化とその活用」、学年、クラス、番号、氏名を記入した表紙のカードをつけて、輪ゴムでくくる



C. 注意

1. すべてペンで記入すること
2. この演習は、梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書、1969）P.65～P.78の「きりぬぎと規格化」が参考になる

D. 先輩のカード（例）



2年 組 番 氏名：

XXVIII. 知識・情報の獲得・整理・活用



A. 知識・情報の獲得

1. メディア（情報媒体）とは……人から人へと情報・知識を伝達するための媒体
 - a. マスメディア…特定の送り手が情報を不特定多数の受け手へ伝達する（ ）
 - b. ネットワークメディア…複数の送り手から複数の送り手へ情報が行き交う（ ）
2. メディアセンター = （ ）
 - a. 図書館にあるメディア：本、新聞、雑誌、DVD、CD、インターネット、オンラインデータベース……
 - b. 図書館にないメディア：テレビ、ラジオ、映画、ゲーム……

3. 情報とは何か 知識とは何か
 - a. 情報 information：意思決定や行動選択にかかわることから
 - b. 知識 knowledge：自分が知っていることから

※受け取る人によって、情報と知識にわかれる

	情報	知識
体系化		
価値の持続		
信頼性		

例：「藤原部長は素晴らしい先生だ」

中学部生にとっては →（ ） 中学部生以外にとっては →（ ）

4. 活字メディアの特性

- a. 本（図書） book
 - (1)（ ） エンサイクロペディア encyclopedia

例：『ブリタニカ国際大百科事典』、『世界大百科事典』、『ポプラディア』など

- まずは（ ）を見る→関連項目も載っている
- （ ）別と（ ）別がある

- (2)（ ） レファレンスブック reference book

例：『日本史事典』、『国史大辞典』など

- 事典、辞典、図鑑、年鑑、白書、便覧、書誌
- 図書館では（ ）している場合が多い 大学図書館では1階

- (3) 専門書（一般書）

例：『高松塚古墳の研究』、『聖徳太子と飛鳥仏教』など

※レポートや論文には（ ）を用いる（ ）はあくまでも補助

- b. 雑誌 magazine
 - 定期的に出版され、ニュース性のある記事や分野ごとにことごとくを集めた出版物
 - 図書館では（ ）と呼ぶ
 - 研究が深まると、（ ）や（ ）を活用する

	百科事典	参考図書	専門書
知識・情報の広さ			
知識・情報の深さ			

	本(図書)	雑誌	新聞
知識・情報の新しさ			
知識・情報の豊かさ			

- c. 新聞 newspaper
 - 定期的が発行され、ニュース性のある記事が書かれた（ ）されていない紙

5. 電子メディアの特性

a. オンラインデータベース：百科事典や新聞などの活字メディアを電子化したもの → 発信者が明確

例：ジャパンナレッジ、ブリタニカ・オンライン、スクールヨミダスなど

b. Web サイト：さまざまな個人や団体がインターネットを使って情報を不特定多数に公開したもの → 発信者が不明確で、真偽の確認ができないものが多い

発信者が不明確なもの例：Wikipedia、はてなキーワード、ニコニコ大百科など

c. 電子メール：インターネットを使って文や画像などを個人間でやりとりしたもの

• Web サイトの情報をレポートなどで利用する際は、誰が（サイト作成者）、どのように（サイト名）、どこで（URL）、いつ（確認年月日）、発信したものか明示する必要がある

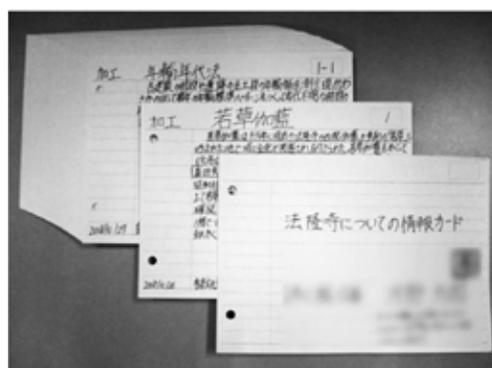
	本（図書）	新聞	Web サイト
知識・情報の新しさ			
知識・情報の豊かさ			
知識・情報の検索性			
知識・情報の信頼性			
知識・情報の保存性			

B. 知識・情報の整理・活用 梅棹忠夫『知的生産の技術』より

1. カードとノートの違い

	大学ノート	B 6 カード
ならべかえ		
分類わけ		
罫線の間隔		
携帯性		
保存性		

2. カードの使い方



3. カードの利点



XXIX. 新聞の特徴



A. 新聞とは

1. 英語では newspaper
2. 定期的に発行されるニュース性のある記事が書かれた紙 () されていない
3. 活字メディアのなかでは、比較的 () しい知識・情報を有する
4. 日本では、() 制度が充実し、() 制度に守られていることもあって、新聞の購読率が高い
 - ・ 再販制度：再販売価格維持制度 メーカーが販売者に対して、商品の値引き販売を許さない制度 → 独占禁止法と矛盾
 - ・ 適用されている商品：新聞、書籍、雑誌、音楽ソフト
5. 同じ日付の新聞であっても、記事内容が違うことがある
 - ・ () が縮刷版などの記録に残る



B. 新聞の種類

1. () 紙：広い分野を扱う
2. () 紙：スポーツや株式、産業など、特定の分野を重点に扱う
例：日本農業新聞（農業）、電気新聞（電気）、冷凍食品新聞（食品）

C. 一般紙の種類

1. () 紙：全国向けにニュースを報じる新聞 五大紙
2. () 紙（ブロック紙）：地方向けにニュースを報じる新聞、地方で発行する新聞
 - ・ 多くは () 社よりニュースの配信を受けている
 例：中日新聞（中部地方）、北海道新聞（北海道）、西日本新聞（九州・中国地方）、神戸新聞（兵庫）

D. 全国紙の種類と特徴

1. () 新聞
 - ・ 関係テレビ：日本テレビ放送網（関西ではよみうりテレビ）
 - ・ 関係スポーツ新聞：スポーツ報知
 - ・ 考え方：おおむね ()
2. () 新聞
 - ・ 関係テレビ：テレビ朝日（関西では朝日放送）
 - ・ 関係スポーツ新聞：日刊スポーツ
 - ・ 考え方：おおむね ()
3. () 新聞
 - ・ 関係テレビ：東京放送（関西では毎日放送）
 - ・ 関係スポーツ新聞：スポーツニッポン
 - ・ 考え方：おおむね ()



4. () 新聞
- ・ 関係テレビ：テレビ東京（関西ではテレビ大阪）
5. () 新聞
- ・ 関係テレビ：フジテレビジョン（関西では関西テレビ）
 - ・ 関係スポーツ新聞：サンケイスポーツ
 - ・ 考え方：おおむね ()

E. まとめ

1. 新聞は、() と結びついて、日本の世論に大きな影響を与えている () である
2. 新聞（テレビ）によって、考え方 () が大きく異なる
3. 新聞、テレビを活用するときは、何が () で、何が () か、明確に区別する必要がある
4. レポートや論文では、メディアなどから得られた事実を土台にして、自分の意見を主張しなければならない



XXX. 事実と意見



A. メディア・リテラシー media literacy

1. リテラシー：読み書きの能力、転じて基本的な力
2. メディア・リテラシー：メディアを読み解いて、必要な情報を入手し、その真偽を判断して、活用する能力

B. 真（しん）と偽（ぎ）

【問題】 次の文について、真か偽かを答えなさい。

関西学院は 1192 年に創立された。……（ ）

関西学院は 1889 年に創立された。……（ ）

1. 真と偽を区別するためには、正しい知識が必要となる→学習や読書によって身につける
2. レポート・論文に（ ）を書くことは許されない→社会を惑わす 信用に関わる
社会的信用がある＝情報の出所（情報源＝ ）が明らかであれば、偽は少ない

C. 事実と意見

1. 事実を読みとる
 - a. 客観的な事実 →学習や読書によって、真か偽かを客観的に確認できる

【問題】 次の文は事実かどうかを答えなさい

・ 1945 年 8 月 9 日、長崎に原子爆弾が投下された。……（ ）

- b. 引用の事実 →他者による情報をその人の情報として伝える

【問題】 次の文は『関西学院史 US0』という本に書かれている記述である。事実の文にしなさい

・ 関西学院は 1192 年に創立された

→

- ・ 書き方としては、（ ）でその情報の出所（情報源、ソース）を示すことが多い。

例：関西学院は 1192 年に創立された。（注1）

（注1） 関 US0（編）『関西学院史 US0』（関 US0 会、1999）P.777

2. 意見を読みとる

- a. 推論
- b. 判断
- c. 確信、仮説、理論など

【問題】 次の文は事実か、意見かを答えなさい

- (1) 田中君は成績がいいので、塾へ通っているに違いない。（事実・意見）
- (2) 河野隆一は宝塚市に住んでいる。（事実・意見）
- (3) 山田君は素晴らしいサッカー選手だ。（事実・意見）
- (4) 関西学院が 7 年ぶりに甲子園出場と「日中スポーツ」が報じた。（事実・意見）

D. 事実と意見とメディア

1. メディアが世の中の事実をすべて伝えているとは限らない
 - ・ マスメディア（テレビ、新聞など）は一般大衆（＝ ）の最大公約数を考えて事実を伝えている → 一般ウケしない事実は取り扱わない

2. 同じ事実であっても、メディアが同じように伝えているとは限らない

【問題】異なる 2 つの新聞社による同じ事実を取り上げた記事を比較しなさい

3. メディアは事実とともに意見も同時に伝えている

【問題】新聞の「社説」から事実と意見を区別しなさい

E. 事実を書く

1. () (when いつ、where どこで、who だれが、what なにを、why なぜ、how どのように) が基本要素
2. しかし、why なぜ、how どのように など、意見につながるような不必要なことからや修飾をつけない

【問題】次の文章を事実の文章にしなさい（不必要な語句を削除）

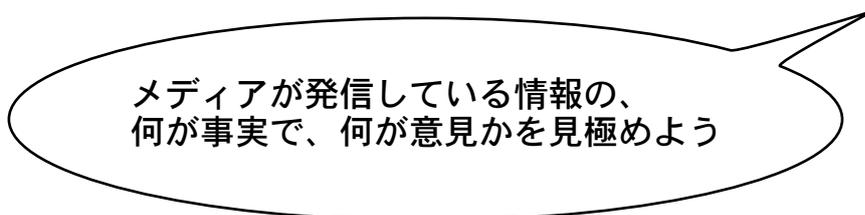
1996 年 7 月 9 日午前 3 時 30 分ごろ、西宮市小松町のコンビニエンスストアで、よぼよぼの男が、背の高いアルバイト店員の河野隆一さんに、鋭くとがった果物ナイフを突きつけ、「金を出せ」とはげしく脅迫。河野さんがそそくさとレジから出した 12 万円を奪って、スタコラサッサと逃げた。

F. 意見を書く

1. 根拠（事実）のない意見には説得力がない → 事実の記述があって意見は成り立つ
2. 事実と意見を明確にわける → 主張、論旨が伝わりやすい
3. 意見と感想は違う
 - a. 意見 もととなる事実を通過点とみなして、次に何かを生み出す姿勢が必要
→ 「……と思う」で終わらないことが多い
 - b. 感想 もととなる事実を到着点とみなして、すでにそれについては生み出すことはない
→ 「……と思う」で終わることもある

G. 参考資料

- ・ 木下是雄『レポートの組み立て方』（ちくま学芸文庫、1994）【816:SK】
- ・ 木下是雄『理科系の作文技術』（中公新書、1981）【816:SK】



XXXI. 作文の技術（2年生）



A. 目的

1. 1年生で学んだ「作文の技術」を定着させるため
2. 高校や大学、あるいは大学入試における「小論文」にも汎用させるため
3. 思考力と表現力をつけるため

B. 1年生次の「作文の技術」との違い

1年生次のエッセイ

- | | | |
|------|------------------|---------|
| • 序論 | テーマについて大まかな説明 | 1 パラグラフ |
| • 本論 | テーマについての内容、説明、理由 | 3 パラグラフ |
| • 結論 | テーマについてのまとめ | 1 パラグラフ |

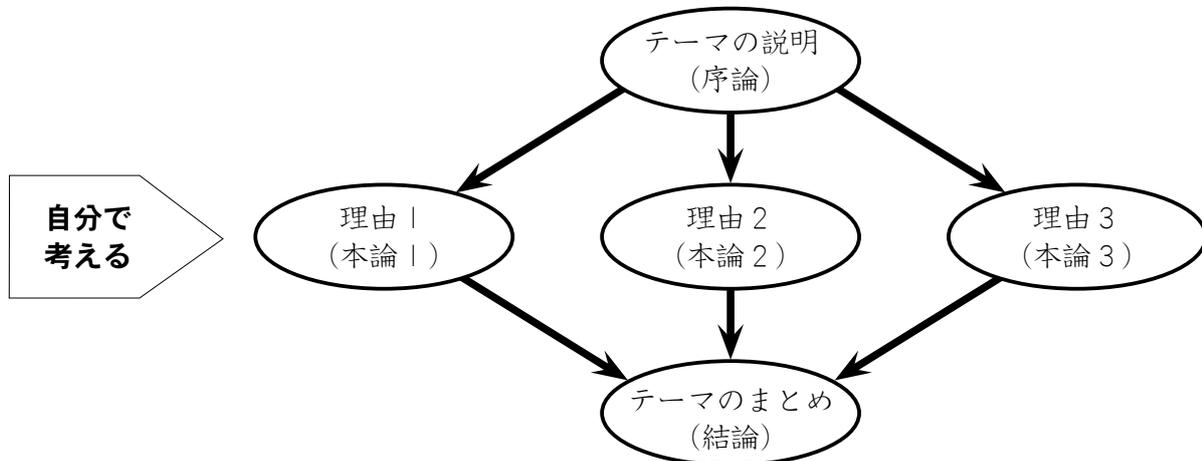
2年生次のエッセイ【今回】

- | | | |
|------|----------------------|---------|
| • 序論 | テーマ（賛成・反対）について大まかな説明 | 1 パラグラフ |
| • 本論 | テーマについて（賛成・反対）の理由 | 3 パラグラフ |
| • 結論 | テーマ（賛成・反対）についてのまとめ | 1 パラグラフ |

※前回と同じく、1パラグラフは4センテンス以上

C. 今回のエッセイの構造・順序

序論→本論1→本論2→本論3→結論 の合計5パラグラフ（各4センテンス以上）



D. エッセイのテーマ

1	小学生から英語を教えるべきである。
2	小学生から英語を教えるべきではない。
3	学校給食は必要である。
4	学校給食は必要ではない。
5	中学受験は必要である。
6	中学受験は必要ではない。
7	中学生に対する定期的な持ち物検査は必要である。
8	中学生に対する定期的な持ち物検査は必要ではない。
9	中学生に下校時の「買い食い」は必要である。
10	中学生に下校時の「買い食い」は必要ではない。
11	「元号」は必要である。
12	「元号」は必要ではない。
13	中学生に武道は必要である。
14	中学生に武道は必要ではない。
15	中学生に定期試験は必要である。
16	中学生に定期試験は必要ではない。
17	中学生にクラブ活動は必要である。
18	中学生にクラブ活動は必要ではない。
19	中学生に土曜日授業は必要である。
20	中学生に土曜日授業は必要ではない。
21	中学生に制服は必要である。
22	中学生に制服は必要ではない。
23	中学生にスマートフォンは必要である。
24	中学生にスマートフォンは必要ではない。
25	中学生に読書は必要である。
26	中学生に読書は必要ではない。
27	学校図書館に電子書籍は必要である。
28	学校図書館に電子書籍は必要ではない。
29	学校図書館にマンガは必要である。
30	学校図書館にマンガは必要ではない。
31	学業成績や運動会の順位づけは必要である。
32	学業成績や運動会の順位づけは必要ではない。
33	「連帯責任」は必要である。
34	「連帯責任」は必要ではない。
35	電車で女性専用車両は必要である。
36	電車で女性専用車両は必要ではない。
37	ごみ収集を有料にすべきである。
38	ごみ収集を有料にしてはならない。
39	スーパーのレジ袋は有料にすべきである。
40	スーパーのレジ袋は有料にしてはならない。
41	ペットを飼うならば犬である。
42	ペットを飼うならば犬以外である。
43	のら猫にエサを与えるべきである。
44	のら猫にエサを与えてはならない。
45	死刑制度は廃止すべきである。
46	死刑制度は存続すべきである。

XXXII. 校外学習新聞① 情報カードの作成

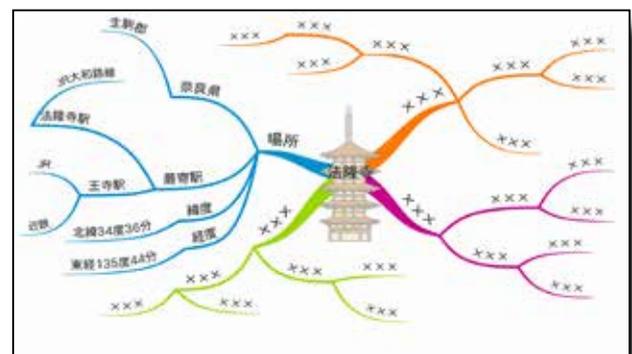
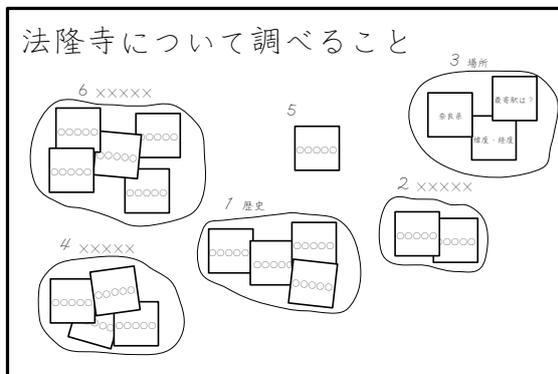


A. 目的

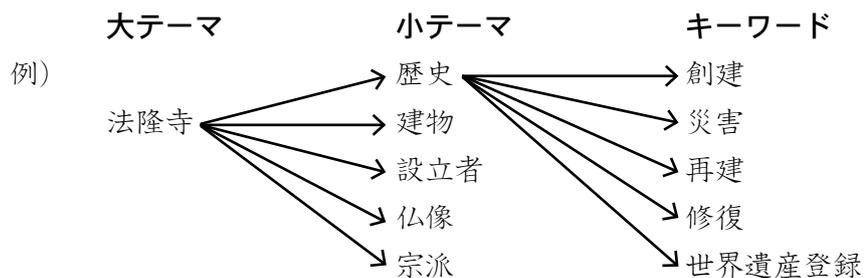
1. 今までに習得した図書館活用法、知識獲得法、情報整理法などを総合的に活用する
2. 多くの情報を1枚の紙で分かりやすく伝える方法として、新聞形式の表現方法を知る
3. 3年生で作成する卒業レポートの準備とする
4. 校外学習で訪れる奈良についての基本的な知識をつける
5. 教養書、啓蒙書を読むことにより、説明文、論述文に慣れる

B. 演習

1. テーマを定める
 - a. 1～3人1組の班になり、それぞれ30個ほどの大テーマの中から抽選で決定する
 - b. この班分けと、校外学習の班分けとは無関係でよい。ただし、校外学習の行動計画では各自の大テーマに関係ある場所をなるべく見学できるようにする
2. 調査対象を定める
 - a. ブレインストーミングやマインドマップを用いて、大テーマについて調べたいこと・調べべきことを6つ前後の小テーマにまとめる →これが新聞記事の元となる
 - b. 大テーマについての5W1Hを基本として特徴、歴史、構成要素、比較対象、関連するものなど、さまざまな事柄を思い浮かべるとよい



c. 調査対象を班員で分担し、記事に関連するキーワードを列挙していく



3. 情報を探す

- a. 各自が分担した小テーマに従って情報を収集する
- b. 基本資料は **2 冊以上の専門書**（各自で探す）とする
- c. 補助資料として参考図書、オンラインデータベース、Web サイトを補完的に使用しても構わない。ただし、使用する Web サイトは、そのサイトの作成者が明確であるものに限る
- d. その他、授業中の先生の話、テレビや雑誌の情報など、あらゆるものが資料となる

4. 事実の情報カードの作成（7 枚以上）

- a. 専門書（2 冊以上）を必ず使用する
- b. 専門的な Web サイトの情報も使用してよい（**百科事典、参考図書、オンラインデータベース、事典検索の Web サイト等は使用不可**）
- c. 他にも新聞記事や雑誌記事、パンフレットなど情報の出所が明確で、資料として役立つものがあれば使用してよい
- d. 情報源に応じた情報カードを用紙として使用する（図書、ウェブ、新聞……）
- e. 見つけた情報を、言いたいことが一つになるまでバラバラにして、カードに記入する。その方法には、**引用**（一字一句丸写しする）、**加工**（自分の言葉で言い替えるか、短くまとめる→要約）がある。引用はできるだけ避けたい
- f. 事実の情報カードの内容は **1 枚にまとめる**。決して 2 枚続きにしない。短くても構わないが、目安は **200 文字**。言いたいことが一つになるまでバラバラにした情報ならば、おのずとそれくらいになる
- g. 事実の情報カードの内容は、**常体**（⇔敬体）で統一する（「……だ。」「……である。」）
- h. 事実の情報カードの内容の**先頭にトピック・センテンス**（中心文）が来るようにする。そのセンテンスにはアンダーラインを引く
- i. 事実の情報カードの内容として、図や表や絵などを貼り付けても構わない。「新聞記事の資料化とその活用」の要領で、折りたたんでまとめる
- j. 事実の情報カードの左上の部分には、「引用」か「加工」の別を記す
- k. 事実の情報カードの右上の部分には、**通し番号**をつける



5. 補足の情報カードの作成 (7枚以上)

- a. 事実の情報カードの中で、難しい言葉、意味のわからない言葉、抽象的な言葉などを、**参考図書、オンラインデータベース**などで調べて補足をする (専門書の本文や注釈は使用不可)
- b. 事実のカードと同様に、情報源に応じた情報カードを用紙として使用する
- c. 文字数の目安は特になし
- d. 補足の情報カードを作成する事実の情報カード中の言葉を**四角で囲む**
- e. 補足の情報カードの書き方は、事実の情報カードと同様 ただし、通し番号のところに、その事実の情報カードの通し番号と補足の情報カードの**枝番号**をつける

加工または引用	加工	図書 book	関西学院中学部 情報カード
	●	主題 思託 (したく)	12-1
		8世紀の鑑真に学んだ唐代の天台僧。西暦754年に師とともに来日し、師が非難されたとき師の伝を作り弁護した。これが真人元開(まひとげんかい)撰述の鑑真和上東征伝のもととなった。唐招提寺建立に参画している。	
	●	2020年10月21日作成	
		書名 新・佛教辞典 巻 ページ 242	
		著者名 中村 元 (監) 出版者名 誠信書房 出版年 2006	

12 枚目の事実のカードの、1 番目の補足のカードという意味の枝番号

6. 意見の情報カードの作成 (3枚以上)

- a. 事実の情報カードをもとにして、自分の意見、考察をカードにまとめる
 意見＝もととなる事実を通過点とみなして、次に何かを生み出す姿勢が必要
 →「……と思う」で終わらないことが多い
- b. 「自分の意見の情報カード」を用紙とすること
- c. 文字数の目安は **200 文字**
- d. 意見の情報カードの書き方は、事実の情報カードと同様 トピック・センテンスにはアンダーラインを入れる 通し番号のところには、その元となった事実の情報カードの通し番号を書く

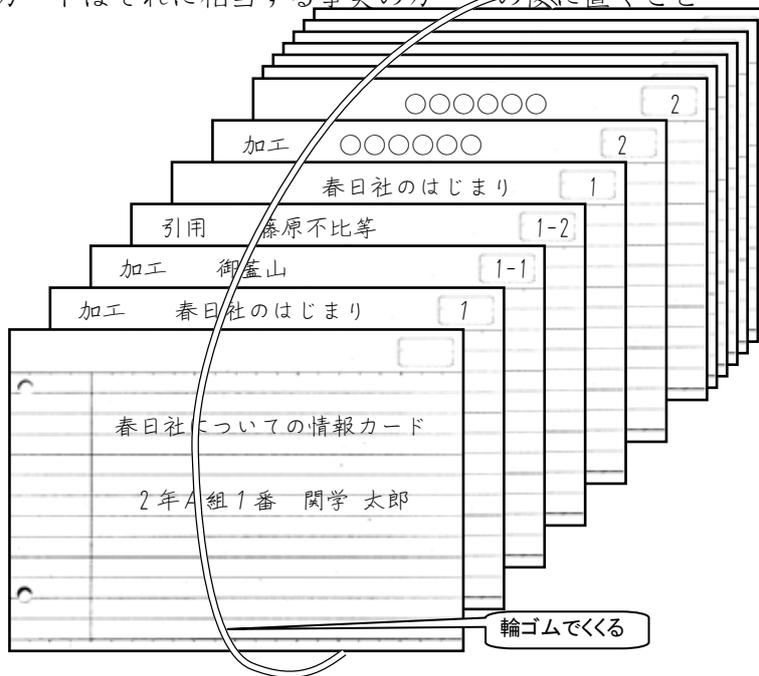
自分の意見 my opinion	加工	関西学院中学部 情報カード	関西学院中学部 情報カード
	●	主題 地形に刻まれた西大寺史	14
		地形に刻まれた歴史を保存していくべきだ。全国的にも古来の歴史を伝える遺跡が少しずつ消えつつある。歴史を伝えていくためにも遺跡を保存し、人々に遺跡について知ってもらい、後世に歴史を伝えることの難しさや大切さを考える機会を作っていくことが大事である。	
	●	2020年10月29日作成	

14 枚目の事実のカードについての意見のカードという意味

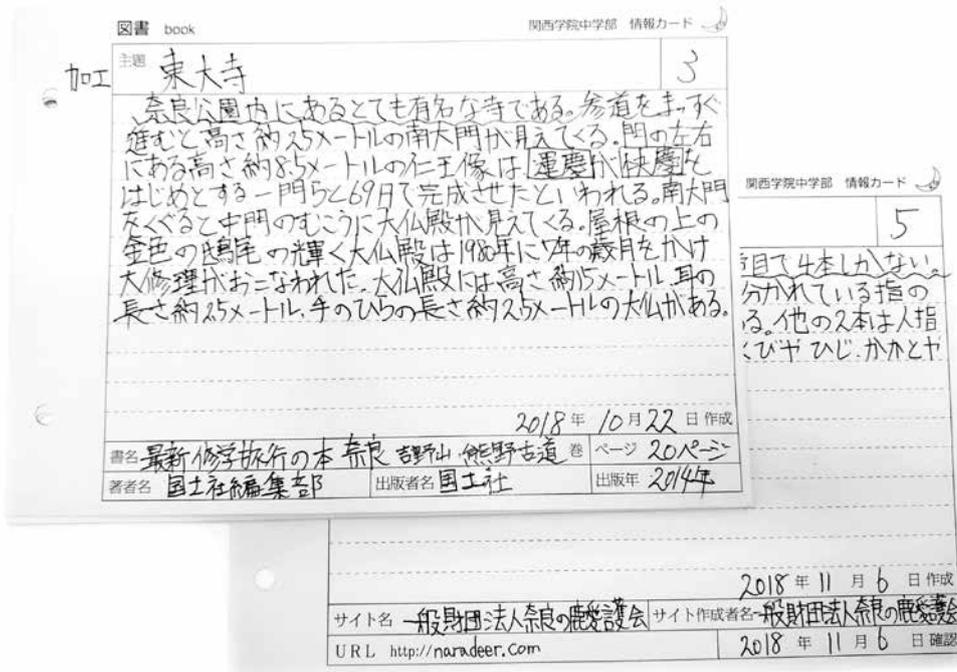
トピック・センテンスにアンダーラインをひく

C. 提出

- ・ 表紙のカードに「○○○についての情報カード」、学年、クラス、番号、氏名を記入
- ・ 事実のカードが7枚以上、補足のカードが7枚以上、意見のカードが3枚以上
- ・ 補足・意見のカードはそれに相当する事実のカードの後に置くこと



D. 先輩の



XXXIII. 校外学習新聞② 新聞の作成



A. 目的

1. 今までに習得した図書館活用法、知識獲得法、情報整理法などを総合的に活用する
2. 多くの情報を1枚の紙で分かりやすく伝える方法として、新聞形式の表現方法を知る
3. 3年生で作成する卒業レポートの準備とする
4. 校外学習で訪れる奈良についての基本的な知識をつける
5. 教養書、啓蒙書を読むことにより、説明文、論述文に慣れる

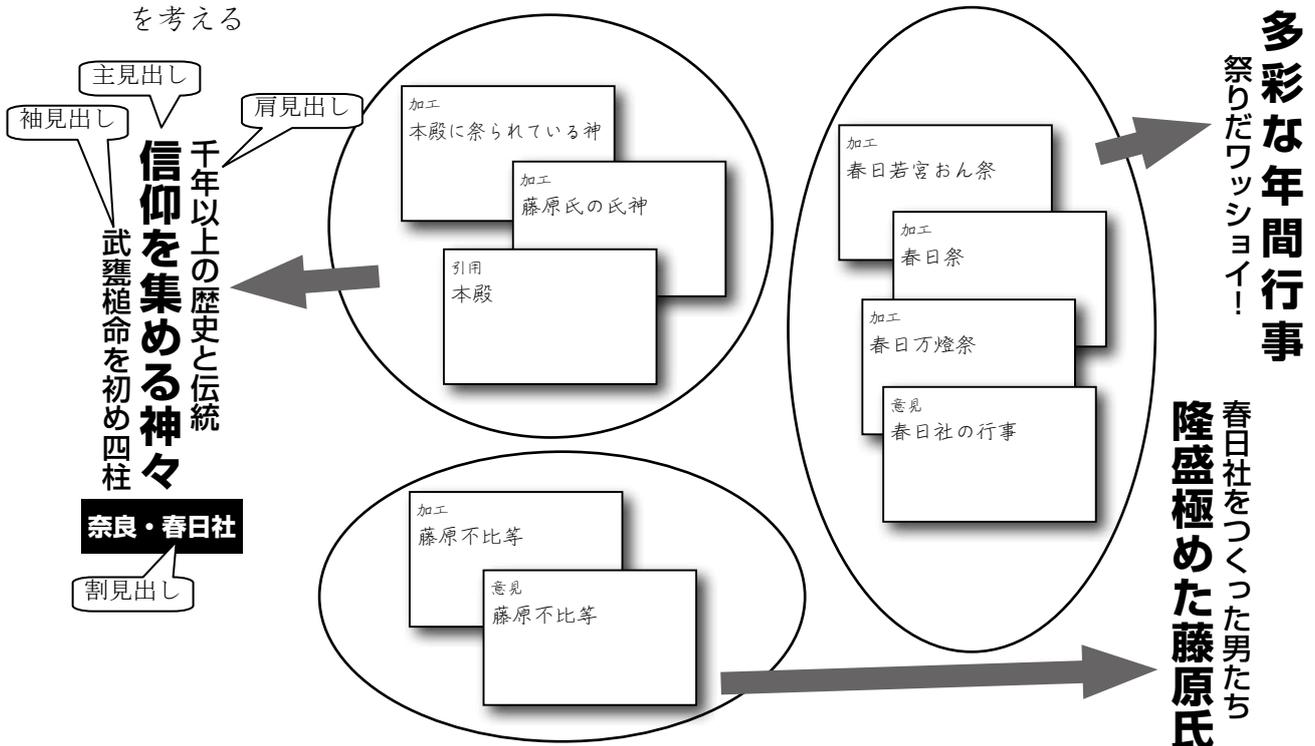
B. 演習 新聞の作成

1. 題字

- a. 「〇〇〇新聞」「〇〇タイムズ」のような形式で新聞のタイトルを決め、紙面の上部（縦書きの場合は右上）に記入する
- b. 紙面上部に発行年月日、題字付近に班員の学年、クラス、番号、名前を記入する

2. 記事

- a. すべての事実の情報カードと意見の情報カードの一行サマリー（見出し）を参考にして、いくつかの集合体をつくる それぞれの集合体を記事の元として、記事の内容と見出しを考える



- b. 本文の書き方はエッセイの書き方に準ずること
- c. 本文の先頭にトピックセンテンス（中心文）が来るよう心がける。
- d. 本文は常体（⇔敬体）で統一する（「……だ。」「……である。」）
- e. 読みにくい漢字にはルビ（ふりがな）を書くと、読みやすくなる

- f. 本文は縦書きのため、数字は漢数字で統一する（見出しなど横書きの場合は算数字）漢数字の書き方についても、本来的な記法か、位取り記法かに統一する（位取り記法推奨）
- (1) 本来的な記法→…十、十一、…、九十九、百、百一、…、九百九十九、千、千一、…
- (2) 位取り記法→…一〇、一一、…、九九、一〇〇、一〇一、…九九九、一〇〇〇、一〇〇一…

3. 用語解説（補注）

- a. 予備知識がない人でも記事を理解できるように、補足の情報カードを元にして、いくつかの専門用語についての解説を書く
- b. 記事の本文中でその用語が初めて書かれている箇所にしるしを付けておく

4. コラム（意見）

- a. 意見のカードを元に、テーマについてのコラム（短い評論）を書く
- b. 感想ではない

5. 図、表、写真など

- 図や表、絵、写真などを資料から引用したり、自分（または友人）が校外学習中に撮影した写真を使ったりする場合は、それに関係がある本文近くに挿入すること 必ず、**キャプション（一行サマリー）**と**ソース**を明記する

6. 用紙下の欄外に、代表的な参考資料3つ以上を、以下のような書式で箇条書きにする

- 例) ・ 三好和義『春日大社』（淡交社, 2003）
- ・ 筒井寛昭, 梶谷亮治ほか『もっと知りたい東大寺の歴史』（東京美術, 2010）
 - ・ 奈良県立橿原考古学研究所（編）『平城京 100 の疑問』（学生社, 2010）
 - ・ 東大寺「東大寺公式ホームページ」(<http://www.todaiji.or.jp>) 2020/10/28 確認

C. 発表

- ・ 提出後の授業で、各班発表をおこなう 各班 2 分 30 秒～3 分で、各自が担当した記事の内容や、工夫した点について話すこと

新聞形式のまとめ方の例

題字 (題字や見出しはレタリングでかくこと)

発行年月日

発行者

20XX (平成 XX) 年 11 月 12 日 (金)



法隆寺新聞

関西学院中学部
2年A組7番 関学 太郎
2年A組2番 関学 次郎

内容が一目で分かる見出し

囲み記事も
バランス良く配置



写真にはキャプションをつける

見出しは大切

どんな記事かここで分かる

リード文
(見出しの横に書かれている、記事の内容を簡単にまとめた文)

新聞の原則は、右上から左下へ目が流れるように!

右上から左下へ配置
大きな記事を右上へ

囲み記事 (4番目の記事)

2番目の記事

1番目の記事

余白も考えよう
少し離れて見てみる

用語解説

用語解説

3番目の記事

コラム



写真や絵は上下に偏らず配置

コラム

参考資料

代表的な参考資料を3つ以上

先輩の壁新聞(例)

聖武天皇

2019年(令和元年)11月27日(水)

関西学院中学部
2年B組 朝日新聞

天皇の即位の 聖武天皇の家系

文武天皇の死
聖武天皇即位
藤原氏と大皇
東大寺
聖武天皇の寺
恭仁京
正倉院

聖武天皇と大仏

大仏の建設と計画
大仏完成
伝説の大仏

用語解説
コラム

正倉院新聞

2019年(令和元年)11月27日(水)

関西学院中学部
2年B組 朝日新聞

トレジャーハンティング in 宝庫

正倉院の宝

関係する人々

光明皇后
聖武天皇

シルクロード

通った道

正倉院展

〈十七日限定〉
第七回

正倉院の歴史

宝庫から見える時代

用語解説
コラム

2019年(令和元年)11月27日(水)

関西学院中学部
2年B組 朝日新聞

鹿でもわかる 唐招提寺

鑑真と唐招提寺

唐招提寺の歩み

金堂平成大修理
鑑真和上像
大修理

唐招提寺の国宝

唐招提寺の仏像とは...?
用語解説
コラム

2019年(令和元年)11月30日(土曜日)

関西学院中学部
2年B組 朝日新聞

世界最古の木造建築!

扉にも秘密がある

法隆寺

エンタシス!? 謎の柱

法隆寺

①大講堂 ②五重塔 ③金堂
④中門 ⑤南大門 ⑥東大門

用語解説
コラム

XXXIV. 卒業レポート① テーマの設定



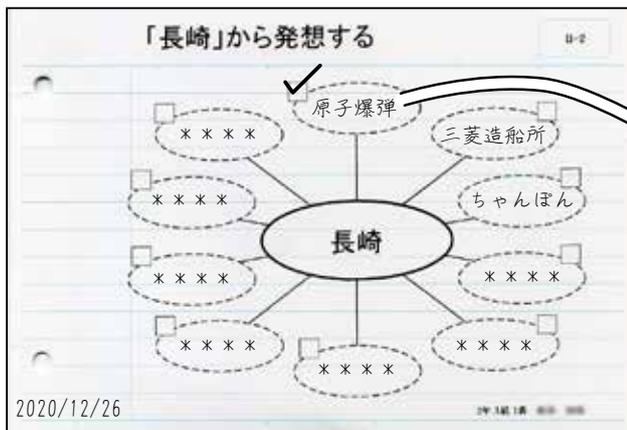
A. 目的

1. 今までに習得した図書館活用法、知識獲得法、情報整理法などを総合的に活用する
2. 一般的に認められている表現方法として、レポートの体裁や方法を知る
3. 自分の中にある興味関心を引き出すため（発想法）
4. 修学旅行の行き先に関する概要を知るため
5. 卒業レポートのテーマを設定するため

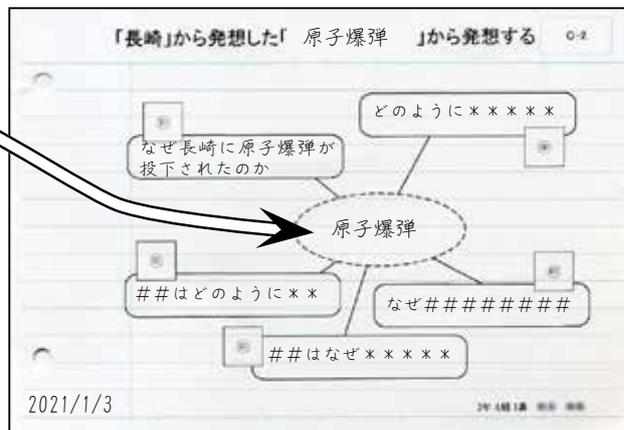
B. 演習

1. 表紙
 - 「卒業レポートのテーマ設定」と書き、学年、クラス、番号、氏名を記入する
2. 修学旅行の行き先から発想する
 - a. 長崎をはじめとする修学旅行の行き先について、関連のあることがらを百科事典、参考図書、専門書、オンラインデータベース、Web サイトなどあらゆるメディアで調べる
 - b. 調べ出したことがらを1語で表す これを修学旅行の行き先それぞれにつき10項目のことがらを導き出す
 - c. 長崎をはじめとする修学旅行の行き先について、それぞれにつき、最も興味深い、調べたいことがらにチェックを入れる
 - d. カードの左下の部分に作成年月日を記入する
3. 2. のカードから、さらに発想を深める
 - a. 長崎をはじめとする修学旅行の行き先について、それぞれにつき、表題の空欄および中央の円に、2. でチェックを入れたことがらを記入する
 - b. そのことがらについて、疑問に感じることを、詳しく調べたいことを5つずつを四角形の欄に記入する 必ず問いのかたち（疑問形）で書く（「？」は不要）

例：なぜ長崎に原子爆弾が投下されたのか どのように原子爆弾は開発されたのか
 - c. カードの左下の部分に作成年月日を記入する。



2. のカードの例



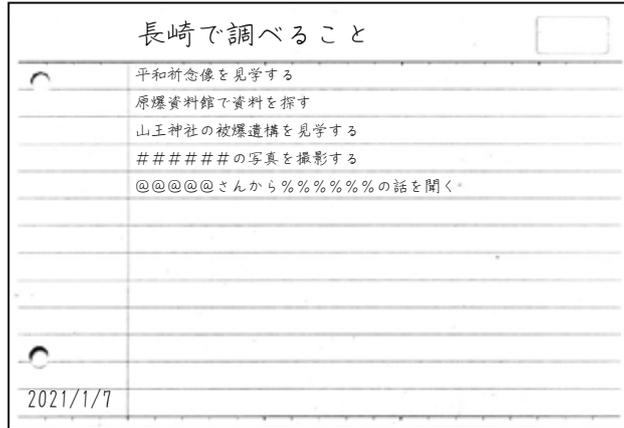
3. のカードの例

4. 面談をしてテーマを確定する

- a. 1.～3.のカードを完成させて先生まで持参する 先生と面談のうえテーマを確定する
確定したテーマの横には先生の判が押される
- b. 多様なテーマに取り組んでもらうため、同種のテーマに取り組める人数には限りがある

5. 確定したテーマについて、**修学旅行先（現地）**で調べられることを簡条書きにする（1枚）

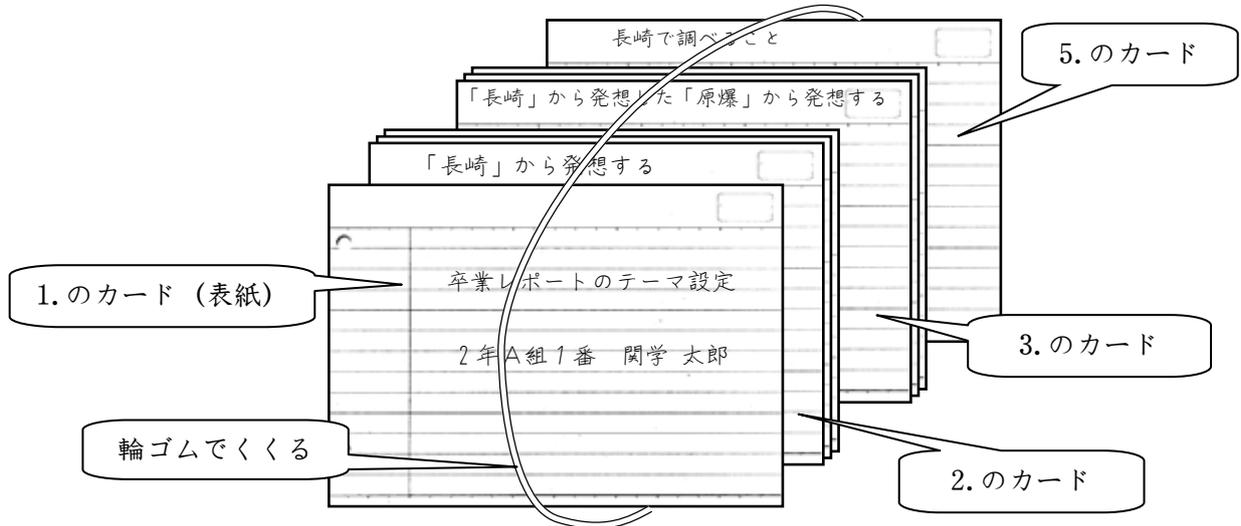
- a. カードの上部には「□□で調べること」と書く
- b. 5つ以上を挙げる
- c. カードの左下の部分に作成年月日を記入する



5.のカードの例

6. 提出

1.～5.のカードを順番にならべて、輪ゴムでくくって提出する ただし、先生の判がなければ提出は認められない



C. その他

1. この演習は、これから1年かけて作成していく卒業レポートの善し悪しを左右する重要な演習である。作成途中でのテーマ変更は認められない。よくよく留意して取り組むこと。
2. 冬休み中の演習のため、中学部図書館から資料を借り出しておくことをすすめる。2学期終わり、3学期はじめの中学部図書館の開館日時に気をつけること。
3. すべてペンで記入すること。

D. 卒業レポートのテーマ

- 決定したテーマを以下にメモしておくこと（課題を提出したら、返却されるまでテーマが確認できなくなるため）



XXXV. 卒業レポート② 参考資料の探索



A. 目的

1. 卒業レポートのテーマに関する参考資料を探すため
2. 卒業レポートのテーマに関する参考資料の吟味、評価をするため
3. 卒業レポートのテーマについてのおおまかな情報を知るため

B. 演習

1. 表紙 (1枚)
 - 表紙として、白紙の情報カードに「卒業レポートのテーマ」についての参考資料」と書き、学年、クラス、番号、氏名を記入する

例：「秋芳洞はどのようにしてできたのか」についての参考資料

2. 参考資料を探すツール (道具)、方法
 - a. 書誌 (本を探すためのツール)
 - b. 図書館の分類を利用して直接書架にあたる (本を探すための方法)
 - c. 一冊の本が用いた参考資料 (様々な参考資料を探すための方法)
 - d. オンライン目録 (OPAC) (図書や雑誌論文を探すためのツール)
 - (1) 学校図書館のオンライン目録の例 :
 関西学院中学部図書館 (<http://library.kgjh.jp/>)
 - (2) 大学図書館のオンライン目録の例 :
 関西学院大学図書館 (<http://library.kwansei.ac.jp/>)
 - (3) 公共図書館のオンライン目録の例 :
 西宮市立中央図書館 (<http://tosho.nishi.or.jp/>)
 兵庫県立図書館の横断検索 (<http://www.library.pref.hyogo.jp/>)
 カーリル 日本最大の図書館検索 (<http://calil.jp/>)
 - (4) 書店のオンライン目録の例 :
 Amazon.co.jp (<http://www.amazon.co.jp>)
 全国書店ネットワーク e-hon (<http://www.e-hon.ne.jp/>)
 - (5) その他のオンライン目録の例 :
 国立国会図書館 (<http://www.ndl.go.jp/>)
 →日本の図書、雑誌 (論文) を探せる
 CiNii [サイニィ] 国立情報学研究所 (<http://ci.nii.ac.jp/>)
 J-STAGE 国立研究開発法人科学技術振興機構 (<https://www.jstage.jst.go.jp/>)
 Google Scholar [グーグル・スカラー] (<https://scholar.google.co.jp/>)
 →日本の図書、雑誌 (論文) を探せる
 - e. Web データベース (図書館などが契約してそのネットワーク内で利用できるサービス)
 - (1) 雑誌記事 (論文) の探し方
 一般的な内容 (週刊誌など) →大宅壮一文庫雑誌記事索引検索

学術的な内容（論文） →国立国会図書館、CiNii など

(2) 新聞記事の探し方

朝日けんさくくん（朝日新聞）

スクールヨミダス（読売新聞）

(3) その他

ジャパンナレッジ、ブリタニカジャパン等は使わない。（後述の通り、百科事典や参考図書は今回の課題には適切ではないため）

関西学院大学図書館 (<http://library.kwansei.ac.jp/>) に、調べものに活用できる Web データベースの一覧がある

f. Web サイトの検索エンジン（Web サイトを探すためのツール）

(1) 検索エンジンの例

Yahoo! JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp/>)

Google (<http://www.google.co.jp/>)

(2) 活用するサイトは**情報発信者（作成者）が明らかなものに限る**。情報発信者が必ずしも明確ではないサイトは信頼性に欠く。レポートの参考資料としては認められない。

g. その他

(1) **本や Web サイトだけでなく、雑誌記事、新聞記事、テレビ番組、ビデオ・DVD ソフトなどのメディアも参考資料となる**。テーマの特性から可能性を探ること。随時レファレンス（相談）に応じる。

(2) **そのテーマに少しでも関わりがあれば、参考資料となりうる**。テーマと完全に合致した参考資料が見つかることは少ない。たとえば、「なぜ天草四郎は島原の乱を起こしたのか」というテーマから『天草四郎』や『島原の乱』など、完全に合致する本は少ない。『長崎県の歴史』や『江戸時代の人物』など、天草四郎や島原の乱について少しでも触れている本ならば、参考資料となりうる。

(3) **NDCの9（文学）の分野の作品は、レポートの参考資料には適さない**。文学作品は、基本的には「偽」（フィクション）である。ただし、「遠藤周作は『沈黙』で何を伝えたかったのか」など、文学そのものをテーマとして取り上げる場合などは参考資料となりうる。

(4) **一つのことがらについて深く追究する卒業レポートの参考資料として、百科事典、参考図書の類は不適當である**。先に学んだ通り、百科事典、参考図書の類は、知識・情報の範囲（幅）が広いため、一つひとつの知識・情報については詳しく（深く）書かれていない。補足として、あるいは参考資料を探すためのツールとして用いること。

3. **参考資料一覧**を書く（すべて白紙の情報カード）

a. 2. で探し出した参考資料について、参考資料一覧カードとしてまとめる

b. 検索ツールごとに**カードを分ける**

c. カードごとに、参考資料を箇条書きにして列挙する

(1) 本・雑誌の場合 →著者名『書名』（出版者，出版年）

例）・ 星亮一『長崎海軍伝習所』（角川文庫，1989）

- 外山幹夫 (編)『図説 長崎県の歴史』(河出書房新社,1996)
 - 瀬野精一郎,新川登亀男ほか『長崎県の歴史』(山川出版社,1998)
- (2) 雑誌記事(論文)の場合 →執筆者名「論文名」(『雑誌名』号数)
- 例) • 河野隆一「学校図書館活用の核とコミュニティをつなぐ司書教諭」(『学校図書館』710号)
- (3) 新聞記事の場合 →新聞名「記事タイトル」日付、版、面など
- 例) • 読売新聞「ユーチューブで被爆体験発信、大学生の試み」2021/1/28 大阪13版 朝刊30面
- 朝日新聞「サッカーV長崎支援 ジャパネットが意向表明」2021/1/28 版不明 朝刊27面(朝日けんさくくん)
- (4) Webサイトの場合 →サイト作成者「サイト名」(アドレス) 確認年月日
- 例) • 福砂屋「福砂屋オフィシャルサイト」(<http://www.fukusaya.co.jp/>) 2021/1/28 確認
- 長崎原爆資料館「長崎市 平和・原爆」(<http://nagasakipeace.jp/>) 2021/1/28 確認
- d. カードの上の部分には、用いた**検索ツール**の名前を書く
- (1) 書誌の場合 **例:『日本書籍総目録 20XX』より**
- (2) 図書館で直接書架にあたった場合 **例:関西学院中学部図書館 書架より**
- (3) 一冊の本の参考資料の場合
例:瀬野精一郎、新川登亀男ほか『長崎県の歴史』の参考資料より
- (4) 図書館のオンライン目録の場合
例:兵庫県立図書館 OPAC (<http://www.library.pref.hyogo.lg.jp>) より
- (5) インターネット検索エンジンの場合
例:Google (<http://www.google.co.jp/>) より
- (6) 自宅の本棚にあった場合 **例:自宅の本棚より**
- e. カードの左下の部分には、**作成年月日**をつける
- f. もしカードが2枚以上にまたがる場合は、用紙の右上の部分に「1/3」のように、何枚のうち何枚目にあたるかを明記する
- g. 参考資料の合計は**最低20項目**のうち**10冊以上は必ず本**を挙げること

関西学院中学部図書館書架より	
藤井哲博『長崎海軍伝習所』(中公新書,1991)	
外山幹夫(編)『図説 長崎県の歴史』(河出書房新社,1996)	
星亮一『長崎海軍伝習所』(角川文庫,1989)	
瀬野精一郎,新川登亀男ほか『長崎県の歴史』(山川出版社,1998)	
長崎県高等学校教育研究会全科部会(編)『長崎県の歴史散歩』(山川出版社,1989)	
・	
・	
・	
2021/1/7	

Yahoo!JAPAN(http://www.yahoo.co.jp)より	
長崎県「長崎県」(http://www.pref.nagasaki.jp) 2020/1/20 確認	
三菱重工業「三菱重工業」(http://www.mhi.co.jp) 2020/1/20 確認	
長崎市「長崎市」(http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp) 2020/1/21 確認	
・	
・	
2021/1/7	

参考資料一覧カードの例

4. 参考資料の概要をつかむ

- a. 3. で探し出した参考資料を中心に、とくに有用と考えられる参考資料を取り上げる 実際はその資料を手に取り、簡単に読んで、その参考資料の概要をつかむ
- b. 概要をつかむには目次、序論、結論を重点的に読むとよい 自分のテーマと照らし合わせながら読んでいく すべてを精読する必要はない

5. 参考資料の概要を情報カードまたはマインドマップにまとめる

a. マインドマップの場合……合計 5 枚以上

- (1) 4. で取り上げた参考資料を、1つの資料につき1枚のマインドマップにまとめる
- (2) セントラルイメージにはその資料からイメージするイラストと、資料のタイトル、Web サイトの場合は URL をかく
- (3) 内容が多すぎる場合やテーマに無関係な内容が含まれる場合は、自分のテーマに関連が深いところだけをまとめてもよい
- (4) メインブランチを含めて1枚につき30個以上のキーワードをかくこと 同じキーワードが何回も使用されるのはやむを得ないが、7枚とも似たような内容にならないよう注意
- (5) 用紙の右下に作成した年月日と学年、クラス、番号、名前を記入する
- (6) 4枚以上は必ず本であること 本のうち少なくとも1冊は中学部図書館以外の本であること

b. 情報カードの場合……合計 10 枚以上

- (1) 4. で取り上げた参考資料を、1つの資料につき1枚の情報カードにまとめる
- (2) 下記の記入例を参考に、参考資料の紹介や要約を 200 文字程度でまとめる。
- (3) 5枚以上は必ず本であること 本のうち少なくとも1冊は中学部図書館以外の本であること

図書 book	関西学院中学部 情報カード
主題	長崎県の歴史
原始から現代に至るまで、長崎県の歴史を網羅している。それぞれ、その時代の専門家が執筆しているので、内容もしっかりとしている。図や表が多く入っており、わかりやすさもある。私のテーマに直接関係があるのは「明治時代の長崎」だが、該当ページはわずか3ページしかなく、情報量が少ないので、他の資料で補完する必要がある。しかし、私のテーマを調べていく上で、それまでの時代の流れを考える必要があるのも、明治に至るまでの長崎の歴史を調べるためには有用である。	
2021年 2月 28日 作成	
書名	長崎県の歴史
著者名	瀬野精一郎 新川登亀男ほか
出版者名	山川出版社
巻	ページ 全体
出版年	1998

ウェブ Web	関西学院中学部 情報カード
主題	三菱重工 長崎造船所史料館
長崎造船所の沿革、概要、工場案内、製品紹介などについての内容を掲載している。資料館の所在地や展示内容についての案内もあり、実際に現地に行く際に参考になると思う。戦艦武蔵を始めとする、長崎造船所で建造された艦船の画像などの資料も多く掲載されている。技術秘匿の関係上、資料館の内部は撮影可能だが、外部は撮影不可のことである。そのため、原爆にも耐えたという赤煉瓦造りの資料館外観の画像は現地では撮影できないと思われる。そのような撮影不可の資料画像を補完する上で有用である。	
2021年 2月 28日 作成	
サイト名	三菱重工 長崎造船所史料館
URL	http://www.mhi.co.jp/company/facilities/history/
サイト作成者名	三菱重工株式会社
2021年 2月 28日 確認	

参考資料の概要を情報カードにまとめた例

C. 提出

- 3. (参考資料一覧) のカードをまとめて輪ゴムでくくって提出
- 5. (参考資料概要) を情報カードで作成した場合は、上記のカードとまとめて提出
- 5. (参考資料概要) をマインドマップで作成した場合は、マインドマップのみ右上をホチキスでとめて、上記のカードと別々に提出

XXXVI. 卒業レポート③ 仮説の設定



A. 目的

1. 卒業レポートのテーマに即した情報を知るため
2. 集めた情報の関連性をまとめ、全体像をつかむため
3. 発想を広げて、より広くより深い情報を集めるため

B. 演習

1. 情報を収集する
 - 前回の演習「卒業レポート② 参考資料の探索」で得られた参考資料を活用し、関連する情報を集める
2. 情報をまとめる
 - a. 収集した情報を元に、卒業レポートのテーマについてのマインドマップをかく
 - b. セントラルイメージとして卒業レポートのテーマ（正確に、？は不要）と、そこから連想されるイラストを記入する
 - c. 合計30単語以上を書くようにすること
3. 仮説を設定する
 - a. 集めた情報を総合し、テーマ（問い）に対する現時点での答え（仮説）を考える 以後、この仮説を卒業レポートの目標として論証していく
 - b. もちろん仮説である以上、必ずしも正しいとは限らない 今後、変更していく可能性がある

例：戦艦武蔵はどのような軍艦だったのか
→日本の造船技術の粋を結集した世界最大の戦艦ながら、航空機が戦争の中心となっていたため活躍の機会を失った不運な艦だった
4. 完成・その他
 - a. 作成日、氏名を忘れずに記入する
 - b. この演習は次の演習「卒業レポート④ 論理の構築」の材料となる

XXXVII. 卒業レポート④ 論理の構築



A. 目的

1. 卒業レポートのグランドデザイン（全体の構想）を構築するため
2. 卒業レポートのテーマ（問い）から仮説（答え）にいたる論理（証明過程）を構築し、今後の目標を規定するため
3. 卒業レポートのアウトラインを作成し、情報を集めるための枠組み（目次）を設けるため

B. 演習

1. 論理の構築

「卒業レポート③ 仮説の設定」で示した仮説（結論）にたどりつくためには、どのように証明（説明）していけばいいのかを考える。この証明過程を論理という。具体的な論理には、次の方法が考えられる。

- a. 時系列（時代順）に追っていく

例：ザビエルはどのような生涯を送ったのか

→ザビエルの生涯を生まれてから亡くなるまで追っていく

- b. 同じような条件のものと比較する

例：豊臣秀吉はキリスト教に対してどのような政策を行ったのか

→織田信長の政策と豊臣秀吉の政策を比較する

- c. 大項目のものごとにおける位置づけを考える

例：今後阿蘇山は大噴火を起こすのか

→火山そのものについて説明した上で、火山の一つである阿蘇山について説明する

- d. 小項目のものごとを集めて全体の性質を考える

例：なぜちゃんぽんはおいしいのか

→ちゃんぽんのスープ、麺、具について説明する

※以上の論理は一例である。論理を組み合わせることも可能。他の論理も考えられる。

2. アウトラインで論理を示す

- a. 考え出した論理をアウトラインの形態にして示す。アウトラインとは、項目の関係性を階層構造で示したもの。原則、アウトラインは**大項目 3 項目、小項目 3 項目**。多少の増減は構わない。例を参照すること。

- b. 完成されたアウトラインは、そのまま**卒業レポートの目次**となる。

- c. **単語や句**で記す（文ではない）。

- d. **自分の言葉**で記す（自分が理解していない言葉を本から丸写ししても意味がない）。

- e. 参考までに、大項目はローマ数字（I. II. III. IV. V. VI. VII. VIII. ……）、その下の小項目は大文字アルファベット（A. B. C. ……）であらわす。

- f. 「卒業レポート③ 仮説の設定」で作成したマインドマップが、この論理を構築するために参考となる。

3. 目標規定文の作成

- a. 以上の論理を、200字程度の1パラグラフの文にまとめる この文を**目標規定文**と呼ぶ
- b. 目標規定文は、問い(テーマ)→論理(証明)→答え(仮説)を簡潔に表す
- c. 原則的にエッセイの書き方を守る
- d. 以後、この文に具体的な内容を加えていくかたちで、卒業レポートが完成させていく

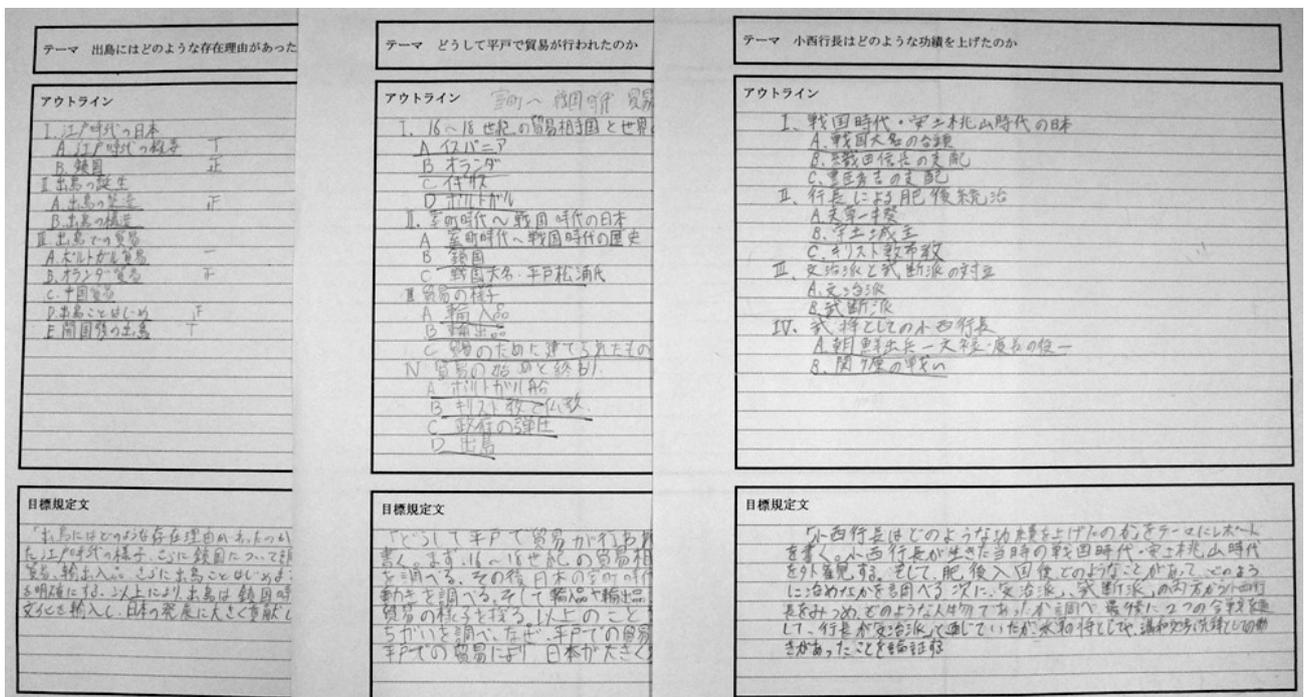
4. 面談をして論理を定める

- ・ 演習プリント「卒業レポート④ 論理の構築」を完成させて先生まで持参する 先生と面談のうえ論理を定める 定まった演習プリントには先生の判が押される
- ・ 面談の際には、なるべく「卒業レポート③ 仮説の設定」のマインドマップを持参した方がよい(考えをまとめる手助けになるため)

5. その他

- ・ 今回の演習は、訂正や変更の可能性があるので、**鉛筆**で書いても構わない

先輩の演習プリント(例)



テーマ シーボルトは日本にどのようなものをもたらしたのか

アウトライン

- I. 18～19世紀のヨーロッパ
 - A. ナポレオンの支配
 - B. ウィーン体制
 - C. ヨーロッパ諸国のアジア支配
- II. ドイツにおけるシーボルト
 - A. 医者之家に誕生
 - B. ヴュルツブルク大学時代
 - C. 東洋研究への関心
- III. 日本におけるシーボルト
 - A. オランダ商館医
 - B. 鳴滝塾
 - C. シーボルト事件

目標規定文

「シーボルトは日本にどのようなものをもたらしたのか」をテーマにレポートを書く。まず、シーボルトが生まれた当時の18～19世紀のヨーロッパの様子を概観する。そのヨーロッパにおいて、シーボルトが何を学び得たかを調べる。その後、シーボルトは来日するが、具体的に日本でおこなったこと、さらには伝えたことを列挙する。以上により、シーボルトは当時の日本にとって必要不可欠な思想と科学技術をもたらしたことを論証する。

作成年月日 20XX年 月 日

印

2年 A組 1番 氏名 関学 太郎



XXXVIII. 論理とは

A. 推論

1. ある前提から、結論を導き出すことを**推論**という
2. 推論は必ず「□□である。よって、○○である。」「○○である。なぜなら、□□だからである。」のような表現になる。

B. 論理

1. 前提と結論とのつながりを**論理**という
2. 論理が正しくても前提が間違っていれば、結論も間違っただけのものになる
3. 前提も論理も正しければ、結論も正しいものになる
4. 論理が正しいことを**論理的**という（前提や結論の正しさとは無関係）
5. レポートやエッセイは**論理的に書かなければならない**

C. 演繹えんえきと帰納きのう

1. 前提から導かれた結論が100%正しい推論を**演繹**という
2. 演繹による結論は「○○である」のような断定の表現となる
3. 演繹ではない推論（結論が100%正しくはない）を**帰納**という
4. 帰納による結論は「○○だろう」「○○かもしれない」「大部分は○○である」のような、あいまいな表現となる

D. 練習問題（以下の推論が論理的に正しいかどうか、演繹か帰納かを答えよ）

1. 生き物は必ず死ぬ → ペリカンペリカンは生き物である → よって、ペリカンは必ず死ぬ
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
2. 鳥は全て二本足である → 太郎君太郎君は二本足である → ゆえに、太郎君は鳥である
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
3. ウミネコウミネコは鳥か猫である → ウミネコは猫ではない → したがって、ウミネコは鳥である
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
4. 鳥には翼がある → ほとんどの翼がある生き物は飛べる → よって、ほとんどの鳥は飛べる
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
5. クチバシクチバシのある生き物の大部分は鳥である → ハトハトにはクチバシがある → したがって、ハトは鳥である
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
6. 翼のある生き物の大部分は鳥である → コウモリコウモリには翼がある → したがって、コウモリはおそらく鳥だろう
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
7. ツバメツバメは鳥である → ツバメは空を飛ぶ → よって、鳥は空を飛べる
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）
8. ペンギンペンギンは鳥である → ペンギンは泳げる → よって、泳げる鳥は存在する
（正しい [演繹・帰納] ・ 正しくない）

XXXIX. 卒業レポート⑤ 基本となる参考資料の購入



A. 目的

1. 卒業レポートのテーマに関する基本となる参考資料を常備する
2. 資料（本）を手に入れる過程を知る

B. 演習

1. 基本となる参考資料を購入する
 - a. 演習「卒業レポート② 参考資料の探索」でリストアップしたものを参考に、もっとも有用と思われる本を **5 冊ピックアップ**する（参考資料としてリストアップしていなかった資料でもよい）
 - b. それらの本が現在**入手できるか確かめる**
 - (1)『日本書籍総目録』で確かめる
 - (2) Books.or.jp【本をさがす】(<http://www.books.or.jp/>)で確かめる
 - c. 書店などで基本となる**参考資料 1 冊を購入**する しかし、その資料が本棚に並んでいることは少ない その場合は注文をする 書店から注文する場合、最長 2,3 週間かかる場合がある



本の流通 出版社→出版取次（トーハン、日販など）→書店

- (1) 流通している本は、必ず定価で販売しなければならない これを再販売価格維持制度（再販制度）という
 - (2) 書店は出版社から本を預かっているので、売れなかった本は返すことができる その返品条件（何日以内に返品するなど）は、出版取次や出版社が決定する 書店は定価で本を販売した一部が利益となる これを委託販売制度、返品制度という
 - (3) 出版取次は、いくつかの出版社をとりまとめ、書店に配本（書店に何冊の本を預けるかなど）やアドバイスをしている
 - (4) 出版社は、定価の設定や発行部数の調整をおこなっている
 - (5) 最近、再販制度や委託販売制度の見直し、amazon など出版取次を経ない流通など、変わりは始めている
2. 演習プリント「卒業レポート⑤ 基本となる参考資料の購入」に、1. の過程を記入する
 3. 購入した参考資料 1 冊と演習プリントをセットで提出する